

令和7年第3回 区づくり推進横浜市議員会議

日 時 令和7年9月5日（金）午前10時から

場 所 磯子区役所 7階 701・702会議室

次 第

1 座長あいさつ 市議員 武田 勝久

2 議 題 議題1 令和6年度磯子区個性ある区づくり推進費の決算について

議題2 令和7年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行状況について

議題3 令和8年度磯子区予算編成の考え方について

区づくり推進横浜市会議員会議運営要領

制定 平成 6年 5月 25日
最近改正 平成 25年 8月 9日

1 目的

本市における個性ある区づくり推進費等について協議するため、各区に区づくり推進横浜市会議員会議（以下「会議」という。）を置く。

2 招集

会議は、市会議長が招集する。

3 構成

会議は、当該区選出の市会議員をもって構成し、互選による座長を置く。

4 協議事項

個性ある区づくり推進費に関して協議する。また、区の主要事業（区内において局が行う事業及び区配事業を含む）に関して必要に応じ協議する。

5 説明員

区長及び区局関係職員とする。

6 開催内容及び開催時期

開催内容及び開催時期は、次のとおりとする。

- (1) 個性ある区づくり推進費の翌年度予算案に関して、予算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (2) 個性ある区づくり推進費の当該年度執行計画等に関して、6月頃開催する。
- (3) 個性ある区づくり推進費の前年度実績と当該年度の執行状況及び翌年度予算編成の考え方に関して、決算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (4) 局が行う事業及び区配事業を含む区の主要事業に関しては、上記開催時に必要に応じて適宜協議する。

7 事務等

- (1) 会議の事務は区長が行い、会議の概要を記載した議事録を作成する。
- (2) 議事録は、会議の日時、場所、出席者、議題及び発言の要旨を記載する。
- (3) 座長は、議事録を議長に提出する。提出された議事録は、議長において、これを公開する。

附 則

この要領は、平成 16 年 1 月 10 日より施行する。

附 則

この要領は、平成 25 年 8 月 9 日より施行する。

議題 1 令和6年度磯子区個性ある区づくり推進費の決算について

1 決算概要	1
2 主要事業	3
3 自主企画事業等決算状況一覧	6



令和7年9月
磯子区

GREEN
X
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

1 決算概要

(1) 総括表

(単位：円)

区分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
自主企画事業費	95,761,000	95,761,000	91,376,015	4,384,985
統合事務事業費	48,421,000	48,421,000	42,559,496	5,861,504
統合事務費	25,800,000	25,800,000	20,902,030	4,897,970
統合事業費	22,621,000	22,621,000	21,657,466	963,534
区庁舎・区民利用施設管理費	759,447,000	762,809,000	762,706,707	102,293
合　　計	903,629,000	906,991,000	896,642,218	10,348,782

(2) 事業区分別内訳

ア 自主企画事業費

(単位：円)

区分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
I 地域の力と魅力にあふれるまち	48,547,000	48,547,000	47,132,289	1,414,711
	環境行動推進事業 商店街にぎわいづくり事業 など14事業			
II ともに支えあう、暮らしやすいまち	30,691,000	30,691,000	26,813,543	3,877,457
	親子の笑顔サポート事業 多文化共生推進事業 など10事業			
III 安全・安心なまち	16,523,000	16,523,000	17,430,183	△ 907,183
	地域と一緒につくる防災・減災事業 地域・学校防犯力強化事業 など6事業			
計	95,761,000	95,761,000	91,376,015	4,384,985

イ 統合事務事業費

(ア) 統合事務費

(単位：円)

区分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
統合事務費	25,800,000	25,800,000	20,902,030	4,897,970

(イ) 統合事業費

(単位：円)

区分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
広報よこはま磯子区版発行事業	9,921,000	9,921,000	9,111,715	809,285
区民相談事業	2,515,000	2,515,000	2,507,182	7,818
クリーンタウン事業	2,318,000	2,318,000	2,288,262	29,738
消費生活推進事業	778,000	778,000	773,427	4,573
スポーツ推進委員支援事業	2,144,000	2,144,000	2,151,752	△ 7,752
青少年指導員協議会支援事業	3,276,000	3,276,000	3,276,000	0
学校・家庭・地域連携支援事業	1,116,000	1,116,000	1,116,000	0
緊急時情報システム運用事業	553,000	553,000	433,128	119,872
計	22,621,000	22,621,000	21,657,466	963,534

ウ 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：円)

区分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
区庁舎等 [総合庁舎、区民活動支援センター等]	200,529,000	200,529,000	199,395,880	1,133,120
土木事務所 [磯子土木事務所]	10,567,000	10,567,000	11,786,050	△ 1,219,050
公会堂 [磯子公会堂（1館）]	37,576,000	37,931,000	37,931,000	0
地区センター [地区センター（4館）]	175,260,000	177,103,000	177,030,000	73,000
青少年施設 [こどもログハウス（1か所）]	10,781,000	10,781,000	10,781,000	0
区民文化センター [杉田劇場（1館）]	136,950,000	137,184,000	137,184,000	0
老人福祉センター [老人福祉センター（1館）]	41,774,000	41,999,000	41,999,000	0
コミュニティハウス [コミュニティハウス（7館）]	74,185,000	74,524,000	74,523,800	200
区スポーツセンター [磯子スポーツセンター（1館）]	49,388,000	49,754,000	49,754,000	0
国際交流ラウンジ [多文化交流ラウンジ（1館）]	16,005,000	16,005,000	16,004,600	400
その他（広場・遊び場等） [子どもの遊び場（2か所）、 町のはらっぱ（4か所）等]	448,000	448,000	776,900	△ 328,900
区庁舎・区民利用施設修繕費 [小破修繕経費]	5,984,000	5,984,000	5,540,477	443,523
計	759,447,000	762,809,000	762,706,707	102,293

2 主要事業

【 **重点** : 重点事業 】

I 地域の力と魅力にあふれるまち

【予算 : 48,547,000 円】

【決算 : 47,132,289 円】

自治会町内会をはじめとする地域で活躍する皆さんを引き続き支援とともに、磯子区の見どころや暮らしやすさなどの魅力を広く発信し、住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて取り組みました。また、区内企業等と連携して脱炭素社会の実現に向けて取組を推進するとともに、商店街振興などを通じた地域経済の活性化に向けて取り組みました。

【主要事業】

(1) 環境行動推進事業 **重点** P. 9

親子向けの環境啓発イベントや区内企業見学バスツアーなど、脱炭素社会への理解を深める取組を行いました。また、植物発電システムを区庁舎に常設展示するとともに、区内全小学校へ巡回展示（9月～3月）し、小学生向けワークショップを5校で開催し、296人が参加しました。さらに、新しい技術を活用した太陽光発電システムを区庁舎に展示しました。

(2) 磯子まつり事業 P. 12

令和6年9月29日に「第48回磯子まつり」を開催し、47,000人の来場がありました。また、令和6年3月25日に、磯子まつり振興委員会を拡充して設立された「磯子区制100周年記念事業実行委員会」において、令和9年の区制100周年に向けた検討を行い、キャッチフレーズ「未来にはばたく磯子 100周年ありがとう」を策定しました。

(3) 区の魅力創出・発信事業 **重点** P. 14

磯子の美味しいものや見どころ情報など、さまざまな地域の魅力をお届けする磯子区魅力発信サイト「ISOGO +」（いそごぷらす）を1月に公開するとともに、ISOGO +と連動した「磯子の逸品」クーポン企画を実施し、254人の参加がありました。

また、磯子区の歴史の一部である堀割川の活用に向けて、クルーズ運航やクルーズと連携したイベント等を実施しました。

Ⅱ ともに支えあう暮らしやすいまち

【予算額：30,691,000円】

【決算額：26,813,543円】

未来を担う子どもたちを健やかにはぐくむため、多様化する子育てニーズに対応する育児支援や、地域での子育て支援を進めました。

身近な地域での支えあい活動など、「第4期磯子区地域福祉保健計画」に基づく地域の皆さまの取組を積極的に支援するとともに、地域包括ケアシステムの推進や多文化共生に取り組むことで、誰もが地域で安心して、自分らしく力を発揮できる、幸せに暮らせるまちの実現に向けた取組を行いました。

【主要事業】

(1) 高齢者みんなで支えるまちづくり事業 **重点** P. 23

民生委員、地域ケアプラザ、区役所への相談や支援につながっていない一人暮らし高齢者等が、困り事を自ら相談し、「つながる」ことができるよう、お住まいの地域のケアプラザと区役所の電話番号を記載した保存版の「つながるマグネット」とチラシを作成しました。一人暮らし高齢者等のうち、民生委員の訪問を希望されなかった797名に配布しました。

(2) 親子の笑顔サポート事業 P. 27

子どもへの関わり方に悩む養育者向けの講座を実施するとともに、要支援家庭を地域で支えるネットワークづくりを目的としたエリア別の虐待防止連絡会の活動などにより、区内の児童虐待死は令和6年度においてもゼロとなりました。

(3) 子育て応援事業 **重点** P. 28

地域子育て支援拠点のホームページと連携した、区内7エリアごとの子育て情報を提供する「いそっこマップ」を改訂し、8,500部を作成しました。令和6年10月から、区役所窓口やこんにちは赤ちゃん訪問のほか、保育園や地域子育て支援拠点「いそピヨ」、地域の各種子育て支援活動等を通じ、区民のみなさまに配布しました。

(4) 多文化共生推進事業 **重点** P. 33

いそご多文化共生ラウンジでは、令和5年2月の開設以来、相談件数が年々増加し、外国人と地域をつなぐ多文化共生の拠点としての認知が高まってきました。地域の抱える課題に対応するため、ラウンジを中心に、地域団体や学校等と連携した地域へのアウトリーチを通じた多文化共生の推進に取り組み、地域イベントにおける外国人ボランティアによるごみの分別啓発や外国人住民向けの防災座談会を開催しました。

III 安全・安心なまち

【予算額：16,523,000 円】

【決算額：17,430,183 円】

震災や激甚化している風水害に備えた自助・共助の取組への支援や様々な世代への啓発を着実に実施するとともに、多様な避難者への対応や備えを進めるなど、総合的な災害対策の充実に継続して取り組みました。また、地域・学校・警察等と連携して、防犯や交通安全などの地域を守る取組を推進し、地域の皆さまの安全・安心な暮らしの実現を目指して取組を行いました。

【主要事業】

(1) 地域と一緒につくる防災・減災事業 重点 P. 34

発災時の円滑な拠点運営や、拠点訓練の充実を図るため、運営委員向け講習会を10月に実施しました。また、備蓄品の増加により手狭となった備蓄庫の収容スペース不足解消のため、5拠点に物置を設置しました（21拠点のうち19拠点が設置完了）。避難場所等の広報として、地区連合町内会ごとの災害時避難場所及び在宅避難をするためのリーフレットを作成し、配布を行いました。

また、三師会、医療機関などの関係機関と訓練を実施するとともに、災害時でも安定した通信環境を確保できる地域BWA等を配備しました。

さらに、地域防災拠点の訓練の機会を利用して災害時のペット対策に関するパネル展示等を行い、ペット同行避難の理解を進めるための取り組みを実施しました。

3 自主企画事業等決算状況一覧

【重点】：重点事業、【テーマ】：中期計画の基本戦略】

I 地域の力と魅力にあふれるまち

【予算額：48,547,000円】

【決算額：47,132,289円】

事業名	事業内容
1 自治会町内会振興事業 [予算額：5,478,000円] [決算額：3,437,695円] ＜地域振興課＞ テーマ 02	<p>自治会町内会の活動支援や負担軽減等、地域の振興に寄与する取組を進めることで、自治会町内会加入率の向上や地域住民の連帯感の醸成、自治会町内会活動の充実や円滑化に向けて取組みました。</p> <p>(1) 自治会町内会支援事業</p> <p>ア 加入申込書（多言語版含む）・活動案内冊子の配布 イ 加入申込 Web ページの作成 ウ 会計講習会《3回》 エ 自治会町内会の会計に関する専門家による相談 オ 区連会資料の配送 カ 自治会町内会活動へのボランティア派遣 横浜市立大学の学生をボランティアとして派遣 ＜参考＞ 洋光台ハロウインイベントの運営企画スタッフ（3名）</p> <p>(2) 自治会町内会長感謝会《1回》</p> <p>(3) 自治会町内会役員等表彰《7地区》</p> <p>(4) 掲示板設置等補助事業</p>  <p>「学生ボランティアの様子」</p>

<p>2 自治会町内会活動 デジタル化支援事業</p> <p>[予算額：1,980,000円] [決算額： 930,600円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>自治会町内会の希望やニーズに応じたデジタル化支援等の取組を行うことで自治会町内会活動の負担軽減と効率化を推進しました。</p> <p>(1) 自治会町内会デジタル化お助け事業 デジタル機器の初步的な取り扱いから自治会町内会活動への活用に至るまで、きめ細やかな支援を実施《8団体実施》</p> <p></p> <p>「ウェブページのリニューアル等をアドバイザーから学ぶ（森南町内会）」</p>
<p>3 「区民のちから」発揮・活用事業 重点</p> <p>[予算額：1,241,000円] [決算額：1,217,744円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>いそご区民活動支援センターを中心とした地域活動の担い手育成、講座の実施や情報発信により、自治会町内会や活動グループ・団体への支援をすることで、自治会町内会・地域活動団体の活性化に向けて取り組みました。</p> <p>(1) 活動参加促進事業 地域活動に参加する区内中学校ボランティアへの支援として、地域と学校との調整等を、地域ケアプラザと連携して実施 ＜参考＞ 洋光台第二中学校 地域でのボランティア実施回数：17回 延べ人数：115人 森中学校 地域でのボランティア実施回数：10回 延べ人数：116人</p> <p>(2) 運営支援事業 ア 担い手育成講座・スキルアップ編 開催日：7月13日（スキルアップ1） 延べ人数：21人</p> <p></p> <p>「ボランティア活動の様子（森南納涼祭）」</p> <p></p> <p>「ボランティア活動の様子（洋光台四丁目自治会夏祭り）」</p>

テーマ：なりたい自分になるために目標達成チャート活用術を学ぼう
 開催日：9月18日、9月25日（スキルアップ2）
 延べ人数：20人

テーマ：自分史で未来へ 活動のヒントを次世代に残しましょう
 イ 交流会
 開催日：12月8日
 延べ人数：30人

ウ いそご地域活動フェス
 開催日：2月26日～3月14日
 延べ人数：300人

エ スペース・機材の提供
 オ 情報紙「いそつな」の発行
 活動に関する情報の収集・相談窓口での提供



「いそご地域活動フェス
 (体験コーナー)」

地域の担い手応援事業【市民局から再配当 525,000円】

身近な地域における活動を積極的に支援するとともに、自治会町内会をはじめとする様々な団体が連携して課題解決に取り組む地域を広げていくため、「人材づくり」や「組織づくり」など地域の取組を支援しました。

いそご地域づくり塾《全5回実施》（10月4日、10月11日、10月25日、11月10日、11月29日）

専門家による講義や実践者からの学び、受講生によるワークショップなどを通じて、地域の課題解決や魅力づくりを進める力を養うことを目的とした連続講座「いそご地域づくり塾」を実施しました。

<p>4 環境行動推進事業</p> <p>重点</p> <p>[予算額：6,935,000円]</p> <p>[決算額：6,024,441円]</p> <p><区政推進課></p> <p><地域振興課></p> <p>テーマ 05</p>	<p>区内企業等と連携し、未来を担う子どもたちをはじめとして気候変動等に関する理解を深める啓発等を実施し、脱炭素型ライフスタイルへの転換を促すことで、脱炭素社会の実現につなげるとともに、GREEN×EXPO 2027 の機運醸成を図りました。</p> <p>(1) 温暖化対策・脱炭素化推進事業</p> <p>ア 植物発電システムの展示・ワークショップの実施</p> <p>(ア) 区内全小学校での巡回展示 実施期間：9月～3月</p> <p>(イ) 区内小学校でワークショップの開催（5校） 開催日：①9月5日、②9月11日、③9月25日、④1月30日、 ⑤2月3日 参加人数：①42人、②55人、③73人、④35人、⑤91人 場 所：①洋光台第三小、②さわの里小、③岡村小、④屏風ヶ浦小 ⑤磯子小 ワークショップ参加人数計：296人</p> <p>イ 新しい技術を活用した太陽光発電システムの展示 展示期間：通年</p> <p>ウ いそごこどもエコフェスタ 開催日：12月14日 エコパフォーマンスショー参加人数：44人 内容：エコパフォーマンスショー、環境パネル展、エコブック展示</p> <p>エ いそごエコスクール 開 催 日：7月29日 参加人数：39人 内 容：ペットボトルを活用した小学生向けの体験型工作、地球 温暖化に関する講義</p> <p></p> <p>「植物発電システムの展示」</p> <p></p> <p>「いそごエコスクール」</p>
--	--

	<p>オ 企業見学バスツアーの実施 開催日：①8月8日、②12月26日 参加人数：①17人、②35人 見学先：①（株）IHI 横浜事業所、②ENEOS（株）根岸製油所 内容：企業が取り組む温暖化対策の見学等</p> <p>カ グリーンカーテンの育成支援 配布時期：6月 配布先：区内公共施設 38施設</p> <p>(2) 磐子のまち花いっぱい事業</p> <p>ア 花のあるまちづくり事業</p> <p>(ア) 区民向けに花の種・球根の配布 配布時期：6月～11月 配布数：種約2,500袋、球根約3,000袋</p> <p>(イ) 花の育て方講座 開催日：①6月17日、②9月24日 参加人数：延べ参加人数38人</p> <p>イ 花と緑の維持管理</p> <p>(ア) 区役所前の花時計の植替え 実施時期：5月、7月、9月、11月、1月、3月</p> <p>(イ) 駅前の花苗の植替え</p>
--	---

脱炭素化プラス事業【脱炭素・GREEN×EXPO推進局から再配当 1,500,000 円】

- (1) 区内の公立小学校に植物発電システムの展示
- (2) 脱炭素化推進をテーマにした小学生向けワークショップを実施

国際園芸博覧会推進事業【脱炭素・GREEN×EXPO推進局から再配当 2,098,673 円】

GREEN×EXPO 2027 の機運醸成に向けて、区内 7か所に公式マスコットキャラクターがデザインされた新たな横断幕を設置。エレベーターラッピングなど、区庁舎内の装飾を実施

市民や企業と連携した緑のまちづくり事業【みどり環境局から再配当 1,280,048 円】

- (1) 公園の魅力向上事業
 - ア 区の花コスモスPR事業
 - (ア) 区内の公園愛護会及び公園の指定管理者へコスモスの種を配布し、公園で育成
 - (イ) 色とりどりのコスモスが咲き誇る花壇「カクテルコスモス花壇」の整備
 - イ 区役所前立体花壇設置事業
「GREEN×EXPO 2027」開催 2年前記念イベントとして、区の花コスモスをテーマにしたフォトブースを区民参加型で製作し、区庁舎 1階に設置



「区の花コスモスの
フォトブース製作の様子」

区庁舎のLED化推進事業【脱炭素・GREEN×EXPO推進局事業 予算額：204,251,000 円】

磯子区総合庁舎は、令和6年度にLED化工事が実施されました。
2030年度までにすべての公共施設でLED化100%を目指します。

<p>5 磯子まつり事業</p> <p>[予算額：5,300,000円] [決算額：5,300,000円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>区民・区内活動団体・区内企業等で構成する委員会が主体となり、区民まつりを開催することで、磯子区の賑わいや活性化を推進し、区民の皆様の磯子区への愛着と一体感の醸成を進めました。</p> <p>また、令和6年3月25日に、磯子まつり振興委員会を拡充して設立された「磯子区制100周年記念事業実行委員会」において、令和9年の区制100周年に向けた検討を行い、キャッチフレーズ「未来にはばたく磯子 100周年ありがとう」を策定しました。</p> <p>「第48回磯子まつり」（9月29日） 拡充</p> <p>【参考】 第48回磯子まつり 来場者数 47,000人</p>		<p>「第48回磯子まつり」</p>
<p>6 商店街にぎわいづくり事業 重点</p> <p>[予算額：4,120,000円] [決算額：3,664,670円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 03</p>	<p>磯子区商店街連合会と連携して商店街の魅力を発信し、にぎわいを創出することで、商店街を含めた地域コミュニティの活性化に向けて取り組みました。</p> <p>(1) 商店街朝市 区役所屋外駐車場等で実施 開催日：4月20・21日、5月25日、9月29日、12月14日</p> <p>(2) 商店街魅力発信イベントの実施 開催期間：10月12日～11月10日 磯子区商店街連合会と連携し、商店街の店舗を巡ることで、商店街の魅力を知っていただくイベント（商店街宝くじ）を実施</p> <p>(3) 商店街マップの配布 商店街を紹介する「いそご商店街MAP」を更新・印刷し、商店街や区役所窓口、区内郵便局、イベント等で配布することで、年間を通じて商店街の情報及び魅力を発信</p>		<p>「商店街朝市」</p>



「いそご商店街宝くじ」

横浜市商店街活性化イベント助成事業【経済局から再配当 1,917,000円】

魅力ある商店街づくりや商店街の活性化を図ることを目的として商店街等が実施するイベントにかかる経費を補助しました。
商店街プレミアム付商品券支援事業【経済局事業 予算額：198,500,000円】

地域経済の活性化を図るため、商店会等が主体となって発行する商品券事業に係る経費を補助しました。

<p>7 健民祭応援事業</p> <p>[予算額：2,700,000円] [決算額：2,202,020円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>地域の様々な団体が連携して実施する「健民祭」を支援することで、地域行事への参加や運営を通じて地域のつながり強化に向けて取り組みました。《7地区》</p> <p>令和6年度 7地区開催 参加者数 6,192人</p>  <p>「杉田地区健民祭」</p>
<p>8 区民スポーツ振興事業</p> <p>[予算額：920,000円] [決算額：836,000円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>磯子区スポーツ協会加盟団体等が開催する区民スポーツ大会や教室への補助金交付等により、スポーツを通じた区民の心身の健康増進や生きがいづくりにつなげ、市民が生涯にわたってスポーツに親しむ環境を整えることで、地域スポーツの向上・発展を図りました。</p> <p>《17事業交付》</p> <p>＜交付実施事業（抜粋）＞</p> <p>春季磯子区民少年野球学童部大会（4月）約250名</p> <p>春季磯子区民剣道鍛成大会（6月）約180名</p> <p>秋季磯子区民少年野球学童部大会（9～10月）約250名</p> <p>秋季磯子区民剣道鍛成大会（11月）約280名</p> <p>磯子区民綱引大会（11月）約100名</p> <p>磯子区民駅伝大会（12月）約300名 等</p>  <p>「第16回磯子区民駅伝大会」</p>

<p>9 地域文化活性化事業 [予算額：785,000円] [決算額：723,764円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 04</p>	<p>地域の文化活動団体への支援及び様々なグループの発表や芸術鑑賞の場をより多く提供することで、魅力にあふれる環境づくりや磯子区の文化振興を推進しました。また、読書活動推進イベントとして講演会を実施し、読書に親しむ機会の創出を行いました。</p> <p>(1) 「いそご芸術文化祭」への助成《16団体交付》 (2) 区民ホールギャラリー《通年》 区内のグループ等による創作物（絵画等）を週替わりで展示 (3) 読書活動推進講演会 開催日：2月15日 参加者：179名</p> <p></p> <p>「読書活動推進講演会」</p>
<p>10 区の魅力創出・発信事業 重点 [予算額：2,800,000円] [決算額：3,009,503円]</p> <p>＜区政推進課＞</p> <p>テーマ 04</p>	<p>令和9年に迎えるGREEN×EXPO2027及び磯子区制100周年に向けた機運醸成と一体的に区の魅力創出・発信を行いました。</p> <p>(1) 磯子区の魅力発信事業 ア 「磯子の逸品」と連動したウォーキングイベント （「駅からハイキング」（JR主催・磯子区共催））の開催 実施時期：11月 参加人数：1,978人 イ 「磯子の逸品」クーポン企画の実施 実施時期：2月 参加人数：254人 (2) 磯子区の魅力再発見事業 磯子区魅力発信サイト「ISOGO +」（いそごぶらす）公開（1月）</p> <p></p> <p>「魅力発信サイト「ISOGO +」 （いそごぶらす）」</p>

(3) 堀割川の魅力づくり活動支援事業

ア 地域団体によるイベント・広報活動等の支援

(ア) 堀割川の日イベント

開催日：9月8日(日)

参加人数：約800人

テーマ：堀割川の魅力を周知し、川を楽しむため、

ボート乗船体験会やパネル展示等を実施

(イ) 屋形船ツアー

開催日：11月24日(日)

参加人数：51人

テーマ：屋形船に乗船し、堀割川の魅力を再発見する

イ パンフレット作製(みつけようもっと素敵な堀割川) 《8月発行》

内容：平成18年に発行した際の情報を更新し再編集

印刷部数：1万部

ウ 堀割川クルーズ

開催日：10月12日(土)、3月15日(土)

参加人数：155人、160人

運行ルート：いそご桟橋～堀割川(中村橋)～いそご桟橋(10月12日(土))

いそご桟橋～根岸湾(J-POWER沖)～いそご桟橋(3月15日(土))

テーマ：堀割川及び根岸湾の歴史を学ぶ



「堀割川の日開催状況」

<p>11 まちの美化推進事業</p> <p>[予算額：2,831,000円] [決算額：2,826,100円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 05</p>	<p>3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進やポイ捨て防止等まちの美化について、様々な普及・啓発活動を行うとともに、新たに策定された「ヨコハマ プラごみ5.3計画」に基づくプラスチックごみの出し方の変更について周知・啓発を徹底することで、同計画における目標の達成と将来世代への良好な環境の継承に向けて取り組みました。</p> <p>(1) 3R推進事業</p> <p>ボランティア団体や事業者、資源循環局磯子事務所と連携し様々な機会や手法により啓発活動を実施</p> <p>ア イベント等の機会を活用した啓発活動 実施回数：56回、延べ人数：6,280名</p> <p>イ 環境教室 保育園・幼稚園での啓発活動 実施回数：10回、人数：976名</p> <p>ウ プラごみ口コミ大作戦《7月22日～9月30日》 エ リサイクル工作教室 開催日：8月21日（午前・午後）、人数：68名</p> <p>オ 環境映画観賞会 開催日：9月7日、人数：305名</p> <p>カ 横浜マラソン区内コース沿道清掃 開催日：10月24日、人数：132名</p> <p>キ もったいないノートの配布《12月16日～3月31日》</p> <p>(2) 駅周辺清掃事業</p> <p>ア 磯子駅周辺において、周辺事業者の協力による清掃活動の実施《145回》</p> <p>イ スポGOMI大会 in 磯子の開催 開催日：12月7日、人数：92名</p>
---	--



「プラごみ口コミ大作戦」



「スポGOMI大会 in 磯子」

<p>12 区民満足度向上事業</p> <p>[予算額：5,789,000円]</p> <p>[決算額：9,919,625円]</p> <p>＜総務課＞</p>	<p>職員一人ひとりの窓口応対力の向上や人権意識の向上を図る研修等を実施するとともに、来庁者にとって利用しやすい庁舎環境の整備を行うことで、安心・信頼して行政サービスを受けることのできる区役所の実現に向けて取り組みました。</p> <p>(1) 研修、講演会等の開催</p> <p>ア 応対力向上研修《全7回》 テーマ：クレーム応対（基本編、ハードクレーム&セルフケア編）</p> <p>イ 人権啓発講演会 開催日：9月13日 テーマ：ことばとこころ 講師：玉山 貴康 氏 参加人数：188名</p> <p>(2) 区庁舎環境整備事業</p> <p>来庁者が安心して快適に庁舎を利用できる環境づくりを推進するため、4階授乳室の備品の入れ替えや床面の張り替えを行ったほか、7階会議室の老朽化した椅子の更新、1階トイレの特別清掃による衛生面の改善等を行いました。</p>
<p>13 区づくり経営事業</p> <p>[予算額：1,849,000円]</p> <p>[決算額：1,639,599円]</p> <p>＜区政推進課＞</p>	<p>主要事業の企画・進行管理、区内事業の総合調整を実施することで、区民ニーズを踏まえ、効果的・効率的に区の行政運営を行いました。</p> <p>(1) 運営方針の策定、周知《1回》</p> <p>(2) 区内事業の企画・総合調整</p>



「授乳室（改修後）」

<p>14 広報・案内事業</p> <p>[予算額：5,819,000円]</p> <p>[決算額：5,400,528円]</p> <p>＜総務課＞</p> <p>＜区政推進課＞</p>	<p>総合窓口での丁寧な庁舎案内の実施や、磯子区区民生活・震災時防災マップの改訂・配布や生活に必要な情報の発信等を通じて、区役所サービスの満足度を高め、親しみやすく利用しやすい区役所の実現や区民の生活利便性向上に取り組みました。</p> <p>(1) 生活に必要な情報や、区の魅力を伝える情報をまとめ、転入者等へ配布</p> <p>(2) 磯子区区民生活・震災時防災マップや磯子区バスマップの改訂</p> <p>ア 磯子区区民生活・震災時防災マップ 印刷部数：15,000部 発行時期：3月</p> <p>イ 磯子区バスマップ 印刷部数：8,600部 発行時期：3月</p> <p>(3) 区民生活に関わりの深い各種統計情報を掲載した「磯子区統計白書」の作成 発行部数：1,100部 発行時期：1月</p> <p>(4) 来庁者への親切丁寧な庁舎案内を実施</p> <p>(5) 区内の魅力的な風景等を撮影した広報素材を収集・活用</p>
---	---



「庁舎案内」

Ⅱ ともに支えあう暮らしやすいまち

【予算額：30,691,000円】

【決算額：26,813,543円】

事業名	事業内容
<p>15 磯子区地域福祉保健計画推進事業 [予算額：9,070,000円] [決算額：6,749,433円]</p> <p>＜福祉保健課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>「第4期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）」（計画期間：令和3年度～令和7年度）の基本理念である「誰もが幸せに暮らせるまちをみんなでめざす」ため、地域の福祉保健活動の支援や計画の普及啓発を実施するとともに、第5期計画策定の準備を行いました。</p> <p>(1) 支援事業</p> <p>ア 策定・推進検討会 開催日：7月11日、10月24日、2月13日</p> <p>イ スイッチON磯子補助事業</p> <p>(ア) 各地区別計画推進組織の運営《9地区》</p> <p>(イ) 地区別取組事業《9地区・103事業》</p> <p>ウ 区役所・区社協・地域ケアプラザ職員向け地域支援研修 開催日：5月16日 テーマ：地域との関係構築、地域支援チームの運営</p> <p>エ 地区別計画推進発表会 開催日：3月4日 参加人数：187人 テーマ：各地区（磯子・杉田・上笹下）における地区別計画推進</p>  <p>「磯子地区 ふれあい運動会」</p>

	<p>(2) 普及啓発事業</p> <p>ア 広報媒体等（広報よこはま、SNS等）による啓発</p> <p>イ 啓発グッズ配布による計画の普及啓発</p> <p>ウ スイッチON 磯子講演会の開催</p> <p>開催日：11月28日</p> <p>参加人数：273人（民生委員・自治会町内会の方など）</p> <p>テーマ：『知る』～多様性を認め合って、高める地域の力～</p> <p>(3) 第4期振り返り・第5期計画策定事業</p>
<p>16 区民の健康づくり 応援事業</p> <p>[予算額：4,835,000円] [決算額：3,965,522円]</p> <p>＜福祉保健課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>健康寿命の延伸を目指し、区民が自ら健康づくりに取り組めるように、知識や技術の普及・啓発、身近な地域での健康づくり活動を支援しました。</p> <p>(1) 出張！健康づくり応援隊《6月、8月、10月》</p> <p>保健師、栄養士、歯科衛生士が地域での催し等に出張し、歯科医師会、保健活動推進員と連携して、生活習慣改善につなげるための相談やイベントを実施</p> <p>ア 歯と口の健康週間行事</p> <p>開催日：6月5日</p> <p>参加者数：58人</p> <p>イ 杉田劇場夏まつり</p> <p>開催日：8月24日</p> <p>参加者数：227人</p> <p>ウ がん検診啓発パネル展</p> <p>開催日：10月3日</p> <p>参加者数：97人</p>  <p>「歯と口の健康週間での出張！ 健康づくり応援隊」</p>

(2) がん検診・特定健診啓発事業

さまざまな機会をとらえたがん検診・特定健診の受診勧奨

ア がん予防特別講演会

開催日：6月5日

参加者数：58人

テーマ：がん検診受診率向上に向けて

～がん検診の重要性と食を通じた生活習慣の改善により「がん予防」を知る～

イ 乳がん検診啓発の区内駅ポスター掲示

掲示期間：9月25日～10月8日、10月21日～11月3日

ウ 乳がん検診啓発の区役所ライトアップ

開催期間：10月1日～31日

エ がん検診、特定健診啓発パネル展

開催期間：9月30日～10月9日

オ 医療機関へのがん検診、特定健診リーフレット等の配架による受診勧奨



「乳がん検診啓発の区役所ライトアップ」

(3) 保健活動推進員関連事業

ア 保健活動推進員研修

(ア) 1回目 開催日：6月27日

参加者数：31人

テーマ：健康づくりと地域づくりの関係について

(イ) 2回目 開催日：10月18日

参加者数：23人

テーマ：チラシの作り方・企画の立て方

(ウ) 3回目 開催日：11月28日

参加者数：29人

テーマ：ウォーキング



「保健活動推進員研修のウォーキング研修」

イ 保健活動推進員活動支援

(4) 乳幼児の「食」応援事業

ア 出張栄養相談《11回》
参加者数：47組 95人

イ はじめての離乳食教室《12回》
参加者数：98組 219人

ウ おいしいお話をみかせ《2回》
参加者数：15組 36人

(5) 区民の「健口」応援事業

ア おやこ歯つぴー教室《6回》
参加者数：34組 70人

イ 磯子区歯科医師会との連携会議
開催日：11月7日

各区における市民に届く情報発信【健康福祉局から再配当 701,580円】

第3期健康横浜21の開始にあたり、健康づくりを楽しく魅力的なものと感じてもらい、日々の生活習慣として定着させるため、区の地域特性を踏まえた戦略的な広報プロモーションを行いました。

(1) 適正飲酒の啓発のためのラッピングバス走行（3台）
実施期間：9月～12月

(2) マグネットシートを貼付したごみ収集車走行（18台）
実施期間：10月～3月



「オリジナルデザインを作成し、ごみ収集車やバスに掲載」



「適正飲酒を啓発しているラッピングバスとごみ収集車」

<p>17 高齢者みんなで支えるまちづくり事業</p> <p>[予算額：2,235,000円] [決算額：2,089,217円]</p> <p>＜高齢・障害支援課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>介護予防・健康づくりや認知症の方を地域で見守る体制づくり、高齢者が一人で悩まず誰かにつながる地域づくりを進めることで、横浜型地域包括ケアシステムを推進し、健康寿命の延伸や、高齢者一人ひとりが暮らしやすい地域の実現を目指して取組を行いました。</p> <p>(1) フレイル予防 ア 磯子フレイル予防サポーターが活用する地域活動推進グッズの作成 イ フレイル予防動画「磯子けんこう体操」のインターネット配信、DVD・リーフレットの配布</p> <p>(2) 認知症普及啓発 ア 磯子区認知症高齢者あんしんネットワーク事業 (ア) 磯子区認知症事業・高齢者虐待防止連絡会 開催日：12月12日 参加人数：34人 (イ) 認知症の理解を深めるためのリーフレット増刷 印刷部数：5,000部 イ 区民理解の促進 (ア) 認知症サポーター養成講座 実施回数：計29回 延べ人数：1,313人 (イ) 啓発用ハンドタオル作成・配布 ウ 普及啓発講演会 認知症当事者等による講演会を実施 開催日：12月4日 人 数：65名 テーマ：認知症になつてもいきいき暮らす ～つながり・支えあう地域～</p>
--	---



「フレイル予防動画（磯子けんこう体操）」



「認知症サポーター養成講座」
(浜小学校)

	<p>(3) 一人暮らし高齢者等への相談窓口啓発</p> <p>民生委員、地域ケアプラザ、区役所への相談や支援につながっていない一人暮らし高齢者等が、困り事を自ら相談し、「つながる」ことができるよう、お住いの地域のケアプラザと区役所の電話番号を記載した保存版の「つながるマグネット」とチラシを作成。一人暮らし高齢者等のうち、民生委員の訪問を希望されなかった 797 名に配布。《12月》</p>
--	---

元気づくりステーション【健康福祉局から再配当 1,114,742 円】

「歩いて行ける身近な場所で仲間と介護予防に取り組む自主的なグループ活動」

第9期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画において、元気づくりステーション等のグループ活動を広げ、介護予防の取組を推進することが位置づけられており、磯子区では令和6年度27のグループが活動しました。

- (1) 区保健師と地域包括支援センターの看護職が連携し、新規グループの立ち上げや既存グループの活動の活性化支援
- (2) 区内元気づくりステーションの情報マップ等を活用した地域に向けた情報提供
- (3) 区全体交流会の実施
開催日：1月 29 日
- (4) フレイル予防普及啓発のための介護予防サポーター人材育成研修の実施
開催日：2月 21 日・3月 3 日

<p>18 障害者地域生活サポート事業</p> <p>[予算額：1,237,000円] [決算額：1,131,370円]</p> <p>＜高齢・障害支援課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>障害者が住み慣れた地域で安心安全に自分らしく暮らせる地域共生社会を目指して、障害者の支援に関する関係機関のネットワークにより、障害者の地域生活課題を抽出し、課題解決を図るとともに、支援者のスキルアップのための学習会を開催しました。また、障害理解の促進に向けた区民向け普及啓発を行いました。</p> <p>(1) 障害者相談支援ネットワーク事業</p> <p>ア 支援者学習会 開催日：①10月2日、②12月20日、③2月20日 参加人数：①59名、②48名、③75名</p> <p>イ 障害者の防災の取組に関する啓発・意見交換</p> <p>(2) 障害者週間等普及啓発</p> <p>ア 障害者施設自主製品紹介冊子「いそごでさがそ」の印刷 及び駅等への障害事業所による配架</p> <p>イ 区民ホールにおける障害者施設自主製品販売「こすもすショップ」 《全26回実施済 4～3月》</p> <p>ウ 障害者週間パネル展 開催日：12月3日～9日</p>
--	---



「こすもすショップによる自主製品販売」

自殺対策事業【健康福祉局から再配当 241,527円】

自殺の現状や自殺対策について広く普及啓発するため、高齢・障害支援課、福祉保健課、生活支援課が合同で自殺予防週間パネル展等を実施しました。《9月4日～18日》

磯子区精神障害者生活教室（すみれ会）【健康福祉局から再配当 106,823円】

こころの病気を抱える方の社会復帰・社会参加の支援のため、レクリエーションやスポーツ、創作活動などを実施しました。
《月4回》

<p>19 地域の居場所づくり支援事業</p> <p>[予算額：2,100,000円]</p> <p>[決算額：2,764,194円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>地域交流の場や居場所づくりを進める団体に対して、空き家や空き店舗、住居の空き部屋等を活用した施設改修や活動などのための補助金を交付し、多世代による多様な地域活動を活発にし、地域に顔の見える関係づくりを進めました。《交付団体数：3団体》</p> <p>(1) 補助対象経費 《上限 150 万円》 施設の改修等に伴う工事経費や、事業活動の実施に伴う経費等</p> <p>(2) 補助期間 最大 3 年間</p>
--	---



「岡村西部第一自治会館」
(音楽サロン)」

20 親子の笑顔サポート事業

[予算額：2,050,000円]

[決算額：1,580,439円]

＜こども家庭支援課＞

テーマ 01

テーマ 02

子どもへの関わり方に悩む養育者を支援するため、子どもとの適切なコミュニケーションについて学ぶ講座や動画等による啓発を実施するとともに、児童虐待防止に向けたエリア別の連絡会を活用し、支援が必要な家庭を地域で支えるネットワークづくりや区と関係機関との連携強化を図ることにより、児童虐待死ゼロとなりました。

(1) ひろがれ！怒らない子育て

ア 怒らない子育て講座 (CARE プログラム※)

養育者向け実践講座《4回》

参加者数：41名

※CARE プログラム (Child-Adult Relationship Enhancement) は、子どもとよりよい関係を築く時に大切な養育のスキルを体験的に学ぶプログラムです。

イ 啓発媒体 (動画・リーフレット) の配信・配布

(2) 『STOP！こども虐待』事業

ア エリア別虐待防止連絡会

実施日：9月20日・10月18日・11月22日・12月6日

2月7日・3月7日

参加者数：117名

イ 「愛の鞭ゼロ作戦」リーフレット配布・啓発事業

《区内全小中学校配布》

(3) 親子のための法律相談

子どもと女性の生活の安全を守るため、弁護士による専門相談を実施

実施日：5月20日・7月29日・9月30日・11月18日・

1月20日・3月13日 ※各回2名定員

利用者数：12名



「養育者向け実践講座の受講者」



「地域支援者・関係機関が参加するエリア別虐待防止連絡会」

21 子育て応援事業

重点

[予算額：5,036,000円]

[決算額：4,374,705円]

＜こども家庭支援課＞

テーマ 01

テーマ 02

地域子育て支援拠点をはじめとする地域の子育て支援団体・機関と連携した妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援を進めました。安心して子どもを産み育てられる環境を地域全体で構築し、子育て家庭の育児不安や悩みを軽減することで、“子育てしやすいまち磯子”の実現に向けた取組を進めました。

(1) プレパパ出産・育児教室

開催日：6月8日、10月12日、2月10日

延べ参加者数：107人

(2) 授乳相談

実施回数：12回

延べ人数：61名

(3) あかちゃん教室（11会場）

実施回数：103回

延べ人数：1,669名

(4) 保育ボランティアの研修と活用

ア 研修会

開催日：7月3日、10月9日

延べ人数：46名

イ 保育ボランティアの活用

(5) 子育て支援連絡会

地域子育て支援拠点と連携し、子育てネットワークを強化

ア 地区別連絡会

開催日：6月21日、7月2日・3日・10日

イ 全体連絡会

開催日：1月27日



「プレパパ出産・育児教室で体験談をお話する先輩パパ・ママ」



「あかちゃん教室で遊ぶ親子」

(6) 出生を祝う事業

新たな家族を迎えた全ての家庭に、メッセージや手形・足形の成長記録を残せるオリジナルアルバムを配付（手形・足形用のスタンプ台は、あかちゃん教室、地域子育て支援拠点、市立保育園、親と子のつどいの広場等に設置）

対象者：区内出生者

配布件数：870 件

(7) 情報発信

地域子育て支援拠点のホームページと連携した、区内 7 エリアごとの子育て情報を提供する小冊子（いそっこマップ）を改訂し配布

(8) 発達障害児地域支援ネットワーク（はっちネット）事業

ア 定例会

実施日：5 月 16 日、9 月 19 日、1 月 16 日

イ 事例検討会、学習会

ウ 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所マップを区ホームページに掲載



児童虐待防止啓発地域連携事業【こども青少年局から再配当 275,628 円】

児童虐待防止に関する広報・啓発を行うとともに、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくり、人材育成に取り組みました。

(1) 児童虐待防止啓発地域連携事業《関係機関向け講演会》

実施日：2 月 10 日、参加者数：179 名

(2) 区要保護児童対策地域協議会実務者会議《代表者会議》

実施日：6 月 19 日、2 月 26 日

(3) 児童虐待防止のための区民向け啓発

ア パネル展示《11 月》

イ プレパパ出産・育児教室での乳幼児揺さぶられ症候群予防啓発《3 回》

地域子育て支援拠点「いそピヨ」事業【こども青少年局から再配当 61,216,691円】

地域子育て支援拠点では、就学前の子どもとその保護者が遊びながら交流できるスペースを提供するとともに、子育て相談、子育て情報の提供などを行います。利用登録のうえ、無料で利用できる施設で、子育て支援に関わる方のための研修会や子どもの預かりなども実施しました。



「地域子育て支援拠点いそピヨ」

<7つの機能>

子育て家庭のために	(1) 遊んで、交流のできる場を提供します（親子のひろば） (2) 子育ての不安や悩みの相談をお受けします（子育て相談） (3) 子育てのいろいろな情報を集め提供します（情報の収集・提供事業）
子育て支援者のために	(4) 支援者のネットワークをつくります（ネットワーク作り） (5) 支援者向けの研修会などを行います（人材育成機能）
地域の中での子どもの預かり合いの促進	(6) 横浜子育てサポートシステム事務局の運営を担います
地域で子育て家庭を支えるために	(7) 横浜子育てパートナーが親子をサポートします

<p>22 保育園地域子育て支援事業</p> <p>[予算額：836,000円]</p> <p>[決算額：826,163円]</p> <p>＜こども家庭支援課＞</p> <p>テーマ 01</p> <p>テーマ 02</p>	<p>未来を担う子どもたちを健やかにはぐくむため、市立保育園（東滝頭、洋光台第二）の保育施設を活用した子育て支援事業を実施することで、親と子のふれあいや地域とのつながりを醸成し、子育て中の家庭を支援しました。また、園児が保育園で花・野菜を栽培・展示するなど、地域の“緑花”をきっかけに、支援の輪を広げました。</p> <p>(1) 育児支援事業</p> <p>ア ログハウス等地域施設への保育職員による出前保育事業 実施回数：30回、参加人数：611人</p> <p>イ 地域での育児支援イベントの開催 開催日：6月14日、10月22日、11月12日 参加人数：140人</p> <p>ウ 絵本や紙芝居の読み聞かせ、絵本の貸し出しコーナーの設置</p> <p>エ 育児講座の開催や親子の居場所・仲間作りの場の提供</p> <p>(ア) 育児講座 実施回数：8回、参加人数：83人</p> <p>(イ) 仲間作りの場の提供 実施回数：27回、参加人数：376人</p> <p>(2) MY保育園事業 「出生を祝う事業」で配付したアルバムに赤ちゃんの手形・足形を プレゼント</p> <p>(3) 食育推進事業（すくすく・もぐもぐ相談事業）</p> <p>ア 給食体験と育児相談の実施</p> <p>(ア) 給食体験 実施回数：9回、参加人数：19人</p> <p>(イ) 育児相談 実施回数：1,363回</p>
--	---



「育児支援イベント
「いそっこあつまれ！！」の様子」

	<p>イ 給食レシピの配布及びホームページでの掲載</p> <p>(4) 花いっぱい 野菜いっぱい あったか保育園事業</p> <p>ア 市立保育園での花・野菜の栽培と展示</p> <p>イ 栽培した花の区庁舎展示と種の配布</p> <p>開催期間：10月 10～22日</p> <p>ウ 民間保育園や地域の親子、高齢者等との花・野菜の栽培を通じた交流</p> <p>実施回数*：300回</p> <p>*市立保育園の園児が育てた花苗を、地域住民に配布した回数、民間保育園や高齢者施設等に届けた回数等の合計</p>		<p>「高齢者施設利用者に 園児が育てた花を届けた際の様子」</p>
<p>23 青少年育成活動助成事業</p> <p>[予算額：860,000円]</p> <p>[決算額：940,000円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 01</p> <p>テーマ 02</p>	<p>青少年育成を目的とした団体が行う事業に対して補助を行うことで、活動の推進、青少年が健全に育成される環境づくりを促進しました。</p> <p>(1) 青少年育成活動への支援 《10事業交付済》 ふれあいハイキング事業、わくわく自然体験あそび、 ハロウィンイベントなど</p> <p>(2) 磯子区子ども会連絡協議会への支援 磯子区子ども会連絡協議会が行う活動への支援及び事業に対する 補助の実施 《交付済》</p>		<p>「サマーキャンプ」</p>

磯子区寄り添い型学習支援事業【健康福祉局から再配当 16,023,047円】

生活困窮状態等により支援を必要とする家庭に育つ中学生を対象に、個別学習や学習の仕方に関する相談を行うことで、高校進学に向けた支援を行い、将来の自立に向けた基盤づくりのための支援を行いました。

磯子区寄り添い型生活支援事業【こども青少年局から再配当 16,224,991円】

養育環境に課題があることなどから、日常の生活習慣などが身についていない小中学生（主に小学生）を対象に、生活能力の向上を図ることで、将来的に自立した生活を送ることができるよう支援を行いました。

<p>24 多文化共生推進事業 重点</p> <p>[予算額：2,432,000円] [決算額：2,392,500円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 02</p>	<p>多文化共生の拠点となる「いそご多文化共生ラウンジ」を中心に、地域団体や学校等との連携を図ることで、「多文化共生を通して、誰もが地域で安心して力を発揮できる磯子」の実現を目指し、取組を行いました。</p> <p>(1) 多文化共生環境整備事業 区役所窓口へのテレビ電話通訳タブレット及びポケトーク端末の運用</p> <p>(2) 多文化共生推進のための連携事業 地域の抱える課題に対応するため、いそご多文化共生ラウンジを中心地域団体や学校等と連携した地域へのアウトリーチの拡充</p> <p>ア 夏まつり等の地域イベントにおける外国人ボランティアによるごみ分別啓発《4回実施済 8月～10月》</p> <p>イ 外国人住民向け防災座談会《1回実施済 3月》</p> <p>ウ 子育て世代向け情報冊子「いそごおやこじょうほう」作成《3月》</p>
---	--



「外国人住民向け防災座談会」

いそご多文化共生ラウンジ（国際交流ラウンジ）〈区民利用施設管理費 16,004,600円〉

今後も増加が見込まれる外国人区民への対応を進め、更なる多文化共生の実現を目指す取組を行いました。

＜主な機能＞

- ・外国人市民に対する情報提供・相談機能
- ・国際交流事業、日本語教室事業 など



「いそご多文化共生ラウンジ ロゴ」

III 安全・安心なまち

【予算額：16,523,000円】
【決算額：17,430,183円】

事業名	事業内容
<p>25 地域と一緒につくる防災・減災事業 重点 [予算額：8,636,000円] [決算額：10,277,120円]</p> <p>＜総務課＞ ＜福祉保健課＞ ＜生活衛生課＞</p> <p>テーマ 05</p>	<p>災害時の被害の軽減に向けて、地域が主体となって行う防災訓練の支援、区民の自助・共助の意識向上や取組促進を目的とした啓発、防災ボランティア団体の活動支援、区災害対策本部の充実強化を行いました。</p> <p>(1) 地域の自助・共助啓発事業</p> <p>ア 防災講座の実施</p> <p>大規模地震や風水害等に対する備えや避難行動等に関する講話及び防災啓発動画等の啓発資料・啓発物品の配布</p> <p>実施回数：42回</p> <p>延べ人数：2,064人</p> <p>イ 感震ブレーカー設置促進</p> <p>地震火災の危険性が高い地域に住む高齢者世帯等を対象に、消防署・民生委員と連携し、特定遮断型コンセントタイプの感震ブレーカーを配付</p> <p>配付個数：71個</p> <p>ウ 避難場所等広報</p> <p>地区連合町内会ごとの災害時避難場所及び在宅避難を推奨するためのリーフレットの作成及び配布</p> <p>配布数：約66,000部</p> <p> 「防災講座」</p> <p> 「在宅避難リーフレット」</p>

(2) 地域防災拠点等支援事業

ア 地域防災拠点運営委員向け講習会の実施

発災時の円滑な拠点運営や、拠点訓練の充実を図るため、運営委員向け講習会を実施

開催日：10月16日

延べ人数：51人

イ 物置の設置

備品の増加により手狭となった備蓄庫の収容スペース不足解消のため、物置を設置

設置箇所：5拠点

(3) 区災害対策本部強化事業

ア 区本部運営訓練

関係機関、ボランティア団体と連携した訓練を実施

開催日：5月30日、8月28日、1月22日

延べ人数：100人

イ 拠点動員者研修

拠点動員者のスキルアップを図る研修を実施

開催日：8月22日、10月3日

延べ人数：21人

(4) 防災ボランティア活動支援事業

ア 防災パネル展の開催

開催期間：8月21日～8月27日、1月14日～17日

イ 応急手当普及員の新規講習・再講習の支援

(5) 防災関連マップ配布事業

区民による自発的な防災・減災活動に繋げていくため、磯子区区民生活・震災時防災マップ、各種ハザードマップを配布することにより啓発を実施



「洋光台地区連合総合防災訓練」



「区本部運営訓練」



「防災パネル展」

(6) 災害時医療体制整備事業

ア 三師会、医療機関等関係機関による災害医療連絡会の開催

開催日：9月30日・3月17日

イ 医療機関・薬局と連携したMCA無線^{※1}等による情報受伝達訓練の実施《6回》

ウ 三師会との「のぼり旗掲出訓練」の実施

開催日：10月25日

エ 医療機関等との災害医療合同訓練の実施

開催日：1月26日

オ 災害時でも安定した通信環境を確保できる地域BWA^{※2}等の配備

※1 MCA (Multi Channel Access) 無線

周波数の効率的な利用を目的として開発された一般業務用の陸上移動無線システムで、ひとつの周波数帯を多くの利用者が順番に使用する方式を採用

※2 地域BWA(Broadband Wireless Access)

広帯域移動無線アクセスのこと、携帯電話等で使われる周波数帯と異なる周波数帯を使用しており、災害時でも通信制限がかからず、安定した通信環境の確保が可能

(7) 災害時ペット対策啓発事業

ペットの飼い主に対して災害への備え、備蓄しておく物品や準備すべき事柄等について啓発を実施

ア 地域防災拠点訓練等での啓発パネルの展示

開催日及び場所：1月18日洋光台第四小、2月2日汐見台小、3月2日森中、3月9日岡村公園スマイリングフェア

イ 災害時ペット対策の講習会【オンライン・対面併用開催】

開催日：11月28日

参加人数：40人

テーマ：災害時に必要な対策と犬のしつけ

地域防災力向上事業【総務局から再配当 11,325,087 円】

(1) 地域防災活動奨励助成金

地域防災拠点運営委員会等が実施する研修・広報・訓練などの運営経費及び防災資機材の維持管理経費の一部として補助金を交付し、地域防災拠点を中心とした地域防災活動を支援しました。

(2) 「町の防災組織」活動費補助金

自治会・町内会等により組織されている「町の防災組織」が行う自主防災活動の経費の一部として補助金を交付し、地域の自主防災活動を支援しました。

感震ブレーカー等設置推進事業【総務局事業 予算額：28,000,000 円】

大震災では通電火災により大きな被害が生じています。感震ブレーカーの助成・補助対象を横浜市内全域に広げるとともに、更なる設置促進することで、震災時の火災による住宅被害の軽減に向け取り組みました。地震火災対策計画における対象地域には、引き続き取り付け支援も併せて実施するとともに、「まちの不燃化推進事業」とも連携し、通電火災の防止について周知啓発を強化しました。

家具転倒防止対策助成事業【総務局事業 予算額：12,000,000 円】

地震発生時における人的被害を抑えるため、家具類の転倒防止器具を自力で設置することが難しいと考えられる、高齢者や障害者等のみで構成される世帯に設置助成を行いました。

災害時医療体制整備事業【医療局事業 予算額：68,801,000 円】

大規模災害に備え、横浜市防災計画に基づいた災害時医療体制をより充実させるため災害医療関係機関との連携を強化しました。医療救護隊関係機関である横浜市医師会、薬剤師会、看護協会と連携した集合研修を実施するほか、各区においても必要な訓練や研修を実施するなど、体制を充実させるための取組を進めました。

<p>26 災害時要援護者支援事業</p> <p>[予算額：1,365,000円] [決算額：1,493,085円]</p> <p>＜総務課＞ ＜福祉保健課＞ ＜高齢・障害支援課＞</p> <p>テーマ 05</p>	<p>災害時に自力での避難等が困難な災害時要援護者が円滑、安全に避難できるよう自治会町内会等の取組支援、福祉避難所の運営支援を行いました。また、災害時を含めた緊急時に備えて、救急医療情報キットを配布しました。</p> <p>(1) 災害時要援護者支援事業 否確認等が円滑にできるよう、災害時要援護者名簿の掲載者をプロットした地図の作成</p> <p>(2) 福祉避難所支援事業 ア 災害時に福祉避難所が円滑に運営できるよう、ポータブル電源を3か年で26か所配備のうち、11か所に配備《1月》 イ 情報受伝達等の訓練実施 開催日：(情報受伝達訓練) 6月、11月 (開設・受入訓練) 2月、3月</p> <p>(3) 救急医療情報キット配布事業 希望する区民に対し、救急医療情報キットを配布 配布数：672個</p>
---	--



「福祉避難所 開設訓練」

<p>27 地域・学校防犯力 強化事業</p> <p>[予算額：1,823,000円] [決算額：1,710,998円]</p> <p>＜地域振興課＞</p>	<p>防犯対策や啓発活動を、地域・学校・警察等と協力・連携して進めることで、犯罪のない安全・安心なまちづくりを推進しました。</p>
<p>テーマ 02</p>	<p>(1) 防犯活動支援事業</p> <p>ア 区民による主体的な防犯活動や取組に対する物品の支援 イ 安全安心メールの配信 登録アドレス数：2,630件 配 信 数：16件 ウ 防犯啓発キャンペーン《区内主要駅前等》 エ 磯子警察署と連携した特殊詐欺防止の取組 迷惑電話防止機器を購入し、磯子警察署において貸し出しを実施 貸 与 数：計304台（令和6年3月31日時点） 新規購入：40台</p> <p>(2) 安全・安心まちづくり推進協議会運営</p> <p>ア 安全・安心まちづくり推進協議会総会の開催（書面開催） イ 功労者表彰の実施 開 催 日：10月17日 表彰者数：3人及び1団体 ウ 中学生ポスターコンクールの実施及び表彰 開 催 日：10月11日 参加者数：76人</p> <p>(3) 青色防犯パトロール《20回実施》 実施回数：20回</p>



「防犯貸与物品 LED ベスト」

<p>28 交通安全啓発事業</p> <p>[予算額：3,435,000円] [決算額：3,391,614円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <p>テーマ 02 テーマ 03</p>	<p>交通安全指導と啓発活動を警察、交通安全協会等の団体と連携して進めることで、交通事故の防止と安全意識の向上を推進しました。</p> <p>(1) 交通安全指導</p> <p>交通安全教室や講習を警察署、交通安全協会等と連携して実施</p> <p>ア 幼児交通安全教室 実施回数：全 45 園 延べ人数：2,802 人</p> <p>イ 児童交通安全教室・はまっ子交通安全教室 実施回数：全 16 校 延べ人数：6,074 人</p> <p>ウ 交通安全体験研修会</p> <p>エ 大人への自転車マナー等啓発</p> <p>(ア) 交通安全教室等で大人（保護者）向けの啓発を実施 実施回数：23 回 延べ人数：1,238 人</p> <p>(イ) 区シニアクラブ連合会行事等にて、啓発を実施 開催日：8月7・29日、10月29日、2月4日 延べ人数：1,050 人</p> <p>(ウ) 地区センター等区内施設に出向いての啓発を実施</p> <p>(エ) 自転車マナー啓発のためのラッピングバス走行（2台） 実施期間：2月25日～3月28日</p> <p>(2) 交通安全キャンペーン 各季キャンペーン 開催日：4月8日、7月11日、9月20日、12月12日</p> <p>(3) スクールゾーン対策協議会への助成《全 16 団体》</p> <p></p> <p>「はまっ子交通あんぜん教室 (杉田小)」</p> <p></p> <p>「ラッピングバス(滝頭営業所)」</p>
--	---

29 食と暮らしの安全
確保・啓発事業

[予算額：1,264,000円]

[決算額：557,366円]

<生活衛生課>

テーマ 02

施設等の健康危機管理強化に対する支援や生活衛生及び動物の愛護に関する正しい情報を発信することで、食中毒予防や犬による咬傷事故防止など、区民の安全で安心な生活を実現するよう取り組みました。

(1) 食品取扱施設の衛生確保

保育園等の簡易拭き取り検査《18施設》

(2) 食中毒、感染症予防対策

ア 食中毒予防キャンペーン

開催日：9月29日

参加者数：約500人

イ 感染症対策指導者養成研修会

開催日：10月25・30日

参加者数：81人

(3) 食と暮らしの衛生に関する情報発信

ア 衛生講習会（区民、施設従事者対象の出前講座）

実施回数：50回

参加者数：700人

イ 手洗い講座

実施回数：32回

参加者数：416人

ウ 食と暮らしの衛生に関するパネル展

食中毒：4・6・11月

衛生害虫：4・6月

災害時ペット対策：1・2・3月

薬物乱用防止：6月



「手洗い講座（洗い残しチェック）」

	<p>(4) 衛生害虫等対策</p> <p>ア 広報よこはま5月号でのハチ・蚊等に関する啓発</p> <p>イ 衛生害虫等駆除機器の貸出し</p> <p>貸出件数：9件</p> <p>(5) 動物適正飼育に関する啓発</p> <p>ア 犬や猫の適正飼育啓発資料の配布</p> <p>イ 適正・終生飼育講演会【オンライン・対面併用開催】</p> <p>開催日：11月21日</p> <p>参加人数：21人</p> <p>テーマ：ペットが長生きしてくれたら</p> <p>ウ 長寿犬表彰</p> <p>開催日：11月21日</p> <p>表彰頭数：71頭</p> <p>(6) 猫の飼育問題解決支援事業</p> <p>ア 猫の適正飼育支援（猫侵入防止機器の貸出し）</p> <p>貸出件数：10件</p> <p>イ 地域猫活動の支援</p>
--	--

議題2 令和7年度磯子区個性ある区づくり推進費の執行状況について

1 予算総括表	1
2 主要事業	2
3 自主企画事業等執行状況一覧	7



令和7年9月
磯子区

GREEN
X
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

1 予算総括表

(単位：千円)

区分	予算額
自主企画事業費	95,482
I 地域の力と魅力にあふれるまち ～区制100周年、GREEN×EXPO 2027の機運醸成～	50,981
II 安全・安心なまち	14,474
III 子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち	30,027
統合事務事業費	49,326
統合事務費	26,723
統合事業費	22,603
区庁舎・区民利用施設管理費	776,110
合 計	920,918

2 主要事業

【重点】：重点事業、【新規】：新規事業、【拡充】：拡充事業】

I 地域の力と魅力にあふれるまち～区制 100 周年、GREEN×EXPO 2027 の機運醸成～ 【14 事業 50, 981 千円】

多様化する地域課題と向き合い、自治会町内会や商店街、事業者など地域で活躍する皆さまと協働で地域の活性化に取り組みます。

また、令和 9 年の区制 100 周年及び GREEN×EXPO 2027 を契機に、区の魅力や地域資源を活用した機運醸成を図ることで、脱炭素化に向けた取組を推進します。

【主要事業】

(1) 「区民のちから」発揮・活用事業 重点 新規 拡充 P. 9

地域活動の担い手として若者世代を取り込み、「子どものころから地域とつながる」きっかけづくりの為、中学生のボランティア活動の支援、横浜市立大学と連携した地域行事への派遣支援に加え、令和 7 年度は若者世代を対象としたボランティア講座を開催し、地域からの要望により自治会町内会等が実施する行事へ派遣しています。

(2) 磯子まつり・区制 100 周年事業 重点 拡充 P. 11

区民・区内活動団体・区内企業等で構成する磯子区制 100 周年記念事業実行委員会が主体となって、9 月 28 日に磯子まつりを開催します。令和 7 年度は、区制 100 周年のキャッチフレーズを活用し、更なる機運醸成に取り組むとともに、実行委員会の中に設置された「総務・協賛部会」、「100 周年広報部会」、「100 周年記念事業部会」を中心に、100 周年に向けた検討を進めます。

(3) 区民スポーツ振興事業 新規 P. 12

磯子区連合町内会長会とともにホームタウン協定を締結した「横浜ビー・コルセアーズ」と連携し、プロスポーツに触れることでスポーツへの関心を高めるため、試合観戦企画「区民 DAY」を 4 月 23 日に実施し、140 人の区民の方にご参加いただきました。また、今後、スポーツをする機会の提供として、子ども向けバスケットボールクリニックを年度後半に実施します。

(4) 地域文化活性化事業 P.13

読書活動推進事業については、乳幼児から高齢者まで、すべての世代が読書に親しむ機会を創出し、読書活動の推進を図ります。

8月下旬に、りんごの棚（特別な配慮を必要とする子どもが利用しやすい本を集めた棚）を設置しました。今後も資料等を充実させます。引き続き乳幼児健診におけるおはなし会の開催など、磯子図書館をはじめ、区民利用施設、小中学校・保育園、読書関係団体等の皆様と連携して、様々な取組を進めます。

～第三次磯子区読書活動推進目標について～ 計画期間：令和7年度～11年度

小中学校関係者や保育園、区役所関係各課による検討会議、図書館利用者団体等のご意見を踏まえ、関係法令に基づき、令和7年3月に策定された「第三次横浜市民読書活動推進計画」に則り策定しました。

【目標1】未来を担う子どもたちの読書活動の推進

【目標2】区民の読書活動の環境と機会の充実

【目標3】読書バリアフリーの推進

(5) 区の魅力創出・発信事業 **重点 新規 拡充** P.14

磯子区魅力発信サイト「ISOGO+」（いそごぷらす）において、おすすめスポットを募集及び掲載（～7月）しコンテンツを拡充するとともに、デジタルマップを活用して、磯子の魅力再発見に繋がるまちあるきコースの掲載（11月）やスタンプラリー（11～1月）などを実施します。

また、磯子区の歴史の一部である堀割川の活用に向けて、クルーズ運航（12・2月）や連携したイベント（11月）等を実施します。

(6) 脱炭素・GREEN×EXPO 2027 推進事業 **重点 拡充** P.15

磯子事業会と連携した企業見学・体験教室等の広報を「ISOGO+」において3件実施しました。また、GREEN×EXPO 2027 開催1年前の3月に親子向けの環境啓発イベントを実施します。さらに、植物発電システムを区内全中学校に巡回展示（9～12月）するとともに、区庁舎1階に設置したフォトブースを拡張し、GREEN×EXPO 2027 及び磯子区制100周年PR特設ブースを設置します（9月）。

II 安全・安心なまち

【5事業 14,474千円】

「横浜市地震防災戦略（令和7年3月改定）」を踏まえ、震災や激甚化している風水害に備え、様々な世代や多様な避難者への対応を含めた自助・共助の取組の支援や啓発等を実施することにより、地域防災力の向上を図ります。

また、地域・学校・警察等と連携した防犯対策や交通安全対策に取り組みます。

【主要事業】

(1) 地域と一緒につくる防災・減災事業 重点 新規 拡充 P. 19

近年激甚化する風水害や、発生が危惧されている震災に対しての区民の防災意識の高まりを受け、令和7年度は3つの新規事業を実施しています。「地域防災アドバイザー派遣」は、6月から申込みを開始し、6団体からの申請を受け付けています。「崖地相談会」は12枠全枠の申し込みがあり、7月に開催しました。また、「楽しい防災プログラム体験会」は、11月開催を予定しており、磯子消防署が実施するイベントと共同開催するなど、より多くの方が来場していただけるよう検討を進めています。

また、災害時でも安定した通信環境が確保できる地域 BWA 等を活用し、医療機関などと連携した訓練を2月に実施します。

さらに、発災時にペット同行避難が円滑に進むよう、地域防災拠点において実際にペットが参加する訓練のモデル事業を区内1～2か所で実施するとともに、区民ホール等で災害時のペット対策に関するパネル展示を実施します。

III 子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち

【10事業 30,027千円】

多様化する子育てニーズを踏まえた育児支援をはじめ、「第4期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）」に基づく地域の皆さまの取組の支援や、第5期計画の策定、地域包括ケアシステムの推進、多文化共生の推進に取り組みます。

【主要事業】

(1) 磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）推進事業 **重点** P.26

地域の福祉保健活動の支援や計画の普及啓発を行い、「第4期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）」（令和3年度～7年度）を推進するとともに、第5期計画（令和8年度～12年度）を策定します。今後のスケジュールとしては、10月の策定・推進検討会で素案を策定、11月に区民意見募集を行い、3月に策定予定です。

～第5期スイッチON磯子の基本理念・基本目標について～

令和6年度に、地域の代表や団体を委員とした策定・推進検討会での議論を踏まえ、基本理念と3つの基本目標を策定しました。

【基本理念】

「誰もが幸せに暮らせるまちをみんなでめざす」

【基本目標】

「I お互いを認めあい 自分らしく暮らせるまち」

「II つながりを通して 健やかに暮らせるまち」

「III 共に支えあう お互いさまのまち」

(2) 子育て応援事業 **重点 新規** P.28

保護者のニーズを踏まえ、地域子育て支援拠点いそピヨと連携し、平日多忙な方でも参加しやすい日曜日を、「Sunday いそピヨ」としてオープン（年10回、うち2回は地域へのアウトリーチとして地域ケアプラザで開催）するとともに、男性の育児参加を促進する講座を開催しています。

※8月までの計4回で329名（うち、保護者等178名；父親63名・母親108名・その他家族7名、子ども151名）参加。

(3) 多文化共生推進事業 **重点** P. 37

いそご多文化共生ラウンジが、地域団体や学校等と連携し、防災や外国につながる子どもたちへの支援などの地域の抱える課題や外国人住民が活躍できる場やきっかけづくりに対応するため、多文化共生を推進します。具体的には、外国人ボランティアによる地域イベントでのごみ分別啓発、日本語教室における防災啓発等を実施します。

＜参考＞

1 区制 100 周年に向けた取組【令和 7 年度 : 18,913 千円】

【関連事業】

- (1) 磯子まつり・区制 100 周年事業 <地域振興課>
- (2) 区の魅力創出・発信事業 <区政推進課>
- (3) 脱炭素・GREEN×EXPO 2027 推進事業 <区政推進課>

2 GREEN×EXPO 2027 に向けた取組【令和 7 年度 : 8,349 千円】

【関連事業】

- (1) 脱炭素・GREEN×EXPO 2027 推進事業 <区政推進課>
- (2) 保育園地域子育て支援事業 <こども家庭支援課>

3 自主企画事業等執行状況一覧

【重点】：重点事業、【新規】：新規事業、【拡充】：拡充事業】

I 地域の力と魅力にあふれるまち～区制100周年、GREEN×EXPO 2027の機運醸成～

【14事業 50,981千円】

多様化する地域課題と向き合い、自治会町内会や商店街、事業者など地域で活躍する皆さまと協働で地域の活性化に取り組みます。

また、令和9年の区制100周年及びGREEN×EXPO 2027を契機に、区の魅力や地域資源を活用した機運醸成を図ることで、脱炭素化に向けた取組を推進します。

事業名	事業内容
<p>1 自治会町内会振興事業 [予算額：5,236千円] ＜地域振興課＞</p> <p>【アウトカム指標(全)】 自治会町内会加入率 前年度以上 【参考：6年度実績】 67.6%</p>	<p>自治会町内会の活動支援や負担軽減等、地域の振興に寄与する取組を進めることで、自治会町内会加入率の向上や地域住民の連帯感の醸成、自治会町内会活動の充実や円滑化を推進し、地域の活気や愛着、誇りを育みます。</p> <p>(1) 自治会町内会支援事業</p> <p>ア 加入申込書（多言語版（英語・中国語・韓国語）ほか）・ 加入促進チラシの配布</p> <p>イ 自治会町内会用会計システム操作講習会《全3回実施済》</p> <p>ウ 自治会町内会会計に関するアドバイザー派遣・相談《9回》</p> <p>エ 掲示板設置等補助事業</p> <p>(2) 自治会町内会長感謝会《1回》</p> <p>(3) 自治会町内会役員等表彰《全6地区実施済》</p>  <p>「自治会町内会感謝会の様子」</p>

2 自治会町内会活動

デジタル化支援事業

[予算額：1,980千円]

＜地域振興課＞

【アウトカム指標(全)】

参加者アンケートで「今後の活動に活かせそう」と回答した割合

100%

自治会町内会の希望やニーズに応じたデジタル化支援等の取組を行うことで自治会町内会活動の負担軽減と効率化を目指します。

(1) 自治会町内会デジタル化お助け事業《20団体》

デジタル機器の初步的な取り扱いや自治会町内会のホームページ作成など、きめ細やかな支援を実施



「アドバイザーによる
他の自治会のデジタル化の事例紹介
(洋光台四丁目自治会)」



1. 森南町内会、及び関連行事アルバム（写真）



（森南町内会 HP より）



（森南町内会 HP より）

「会報誌やイベント情報を掲載したホームページ開設」

3 「区民のちから」発揮・活用事業

重点

[予算額：1,626千円]

＜地域振興課＞

【アウトカム指標
(1)(2)】

地域力の取組を通して
地域と関わりを持った
人の数

50人

いそご区民活動支援センターを中心とした地域活動の担い手育成、講座の実施や情報発信により、自治会町内会や活動グループ・団体への支援をすることで、自治会町内会・地域活動団体の活性化を目指します。

(1) 学生ボランティア派遣 **拡充**

ア 中学生のボランティア活動の支援として、活動先の募集や中学生の募集・派遣《通年 10回実施済》
イ 横浜市立大学と連携し、希望がある地域行事への大学生ボランティアの募集・派遣《通年》

ウ ボランティアに関心がある若者世代を対象とした講座の開催・派遣《7月～3月 7月講座実施済》

(2) いそご地域づくり塾《全5回》 **新規**

自治会町内会をはじめとする地域活動の担い手の発掘・育成のため、日頃から地域活動に取り組んでいるコーディネーターの講義やワークショップによる学び合いを通じて課題解決の手法や魅力づくりを進める力を養うための連続講座を実施

(3) 担い手育成講座《全2回 1回実施済 7月》

(4) 地域活動交流会《全1回》

(5) いそご地域活動フェス《全1回 12月》

(6) いそご区民活動支援センター運営事業



「大学生ボランティアの様子
(Happy★ハウイン in 洋光台)」



「中学生ボランティアの様子
(森が丘自治会) お餅つき」



「いそご地域活動フェス
(ミニステージ)」

4 商店街にぎわいづくり事業

[予算額：4,120千円]

＜地域振興課＞

【アウトカム指標(全)】

磯子区商店街連合会
会員店舗数

350店

磯子区商店街連合会と連携して商店街の魅力を発信し、にぎわいを創出することで、商店街を含めた地域コミュニティの活性化を目指します。

(1) 商店街朝市《全5回 4月（2回）・5月（1回）実施済 9月・11月》
区役所屋外駐車場や他のイベント会場へ出店して開催

(2) 商店街魅力発信イベントの実施

磯子区商店街連合会と連携し、商店街の店舗を巡ることで、商店街の魅力をPRするイベントを実施《10～11月》

(3) 商店街マップの配布

商店街を紹介する冊子を作成し、商店街、区内郵便局、区役所窓口やイベント等で配布することで、商店街の情報及び魅力を発信



「商店街朝市」



「商店街マップ」



「いそご商店街宝くじ」

横浜市商店街活性化イベント助成事業【経済局から再配当 1,696千円】

魅力ある商店街づくりや商店街の活性化を図ることを目的として商店街等が実施するイベントにかかる経費を補助します。

商店街プレミアム付商品券支援事業【経済局事業 289,000千円】

地域経済の活性化を図るために、商店会等が主体となって発行する商品券事業に係る経費を補助します。

<p>5 磯子まつり・区制100周年事業</p> <p>重点</p> <p>[予算額：5,500千円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <table border="1" data-bbox="168 468 512 643"> <tr> <td>【アウトカム指標(全)】</td></tr> <tr> <td>来場者アンケートの満足度の割合</td></tr> <tr> <td>99%</td></tr> </table>	【アウトカム指標(全)】	来場者アンケートの満足度の割合	99%	<p>区民・区内活動団体・区内企業等で構成する実行委員会が主体となり、区民まつりを開催することで、磯子区の賑わいや活性化を推進し、区民の皆様の磯子区への愛着と一体感の醸成を目指します。</p> <p>また、「磯子区制100周年記念事業実行委員会」の中に設置された「総務・協賛部会」、「100周年広報部会」、「100周年記念事業部会」を中心に、100周年に向けた検討を進めます。</p> <p>「第49回磯子まつり」(9月28日予定) 拡充</p> <p>【参考】</p> <p>第48回磯子まつり 来場者数 47,000人</p>
【アウトカム指標(全)】				
来場者アンケートの満足度の割合				
99%				
<p>6 健民祭応援事業</p> <p>[予算額：2,700千円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <table border="1" data-bbox="168 897 512 1103"> <tr> <td>【アウトカム指標(全)】</td></tr> <tr> <td>健民祭を通して地域のつながりが深まっていると感じている割合</td></tr> <tr> <td>80%</td></tr> </table>	【アウトカム指標(全)】	健民祭を通して地域のつながりが深まっていると感じている割合	80%	<p>地域の様々な団体が連携して実施する「健民祭」を支援することで、地域のつながりを強化し、地域に対する愛着や誇りを育みます。《9地区》</p> <p>【参考】</p> <p>令和6年度 7地区開催 参加者数 6,192人</p>
【アウトカム指標(全)】				
健民祭を通して地域のつながりが深まっていると感じている割合				
80%				



「第48回磯子まつり」(R6)



「磯子地区健民祭」(R6)

7 区民スポーツ振興事業
[予算額：1,420千円]
＜地域振興課＞

【アウトカム指標(全)】
【横浜市民スポーツ意識調査】1年間で運動やスポーツを週1回以上実施した(磯子区) 60%

区民のスポーツを通じた健康づくりを促進し、地域スポーツの向上・発展を図るため、磯子区スポーツ協会加盟団体やスポーツ振興団体が開催する区民大会やスポーツ教室の支援及び区民がスポーツに親しむ機会を提供します。

(1) スポーツ振興活動補助金交付事業

磯子区スポーツ協会加盟団体等が開催する区民スポーツ大会や教室への補助金交付等により、スポーツを通じた区民の健康づくりを促進します。《少年野球・綱引・剣道大会等 20事業程度 12事業交付済》



「春季磯子区民剣道錬成大会」

(2) トップスポーツチームとの連携を通じた機運醸成事業 新規

磯子区連合町内会長会とともにホームタウン協定を締結した横浜ビー・コルセアーズとの連携により、スポーツの振興を図ります。《通年》

ア 試合観戦企画 (区民 DAY)

《4月23日実施 (横浜 BUNTAI) 申込実績 70組 140人》

イ バスケットボールクリニックの実施 《年度後半》

ウ スポーツチームと連携した区制100周年など区事業のPR 等

《4月23日区民 DAY にて実施 磯子区ブース来場者約350人》



「横浜ビー・コルセアーズ いそご区民 DAY 磯子区ブースの様子」

8 地域文化活性化事業
[予算額： 785 千円]
<地域振興課>

【アウトカム指標(全)】

区民意識調査「仕事や学業以外に活動してみたいこと」、「文化・芸術活動への参加や振興」の割合

19%

乳幼児から高齢者まで、すべての世代が読書に親しむ機会を創出し、読書活動の推進を図ります。また、地域の文化活動団体への支援及び様々なグループの発表の場や芸術鑑賞の機会をより多く提供することで、磯子区の文化の活性化を図ります。

- (1) 読書活動推進講演会《全1回 2月》
- (2) 第三次読書活動推進目標のPR
リーフレットの作成・配布《7月発行済》
- (3) 「いそご芸術文化祭」参加事業への助成《18事業 3事業申請済》
- (4) 区民ホールギャラリーでの展示《通年》
区内のグループ等による創作物（絵画等）を週替わりで展示



「第三次磯子区読書活動推進目標リーフレット」

～第三次磯子区読書活動推進目標について～ 計画期間：予算額度～11年度

小中学校関係者や保育園、区役所関係各課による検討会議、図書館利用者団体等のご意見を踏まえ、関係法令に基づき、予算額3月に策定された「第三次横浜市民読書活動推進計画」に則り策定しました。

- 【目標1】未来を担う子どもたちの読書活動の推進
- 【目標2】区民の読書活動の環境と機会の充実
- 【目標3】読書バリアフリーの推進

9 区の魅力創出・発信

事業 **重点**

[予算額：5,900千円]

＜区政推進課＞

【アウトカム指標】(1)

磯子区魅力発信サイト
「ISOGO +」閲覧回数

80,000回

磯子区への愛着や誇りを育み、住み続けたい、訪れたいと思ってもらえるまちを目指すため、令和9年に迎える磯子区制100周年及びGREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成と区の魅力創出・発信を一体的に行います。

(1) 磯子区の魅力情報発信事業 **拡充**

ア 魅力発信サイト「ISOGO +」(いそごぶらす)において、磯子の魅力を広く発信するため区内のおすすめスポットを一般募集し、20か所公開 《7月》

イ 広報よこはまと連動した「磯子の逸品」クーポン企画やデジタルスタンプラリーイベントを実施

- ・クーポン企画 《全5回 5・7月実施済・9・11・2月》
- ・デジタルスタンプラリー《11～1月》

(2) 堀割川の魅力づくり活動支援

地域団体によるイベント・広報活動等の支援 《11月》

(堀割川の日とよこはま運河チャレンジの同日開催)

(3) 堀割川の親水活用事業 **新規**

磯子区の歴史の一部である堀割川の活用に向けて、クルーズ運航や連携したイベント等を実施 《全2回 12・2月》



「魅力発信サイト「ISOGO +」
(いそごぶらす)」



「堀割川の魅力づくり活動イベント
堀割川クルーズ」

10 脱炭素・GREEN × EXPO 2027 推進事業

重点

[予算額：7,513千円]

＜区政推進課＞

＜地域振興課＞

【アウトカム指標】(1)

当課実施イベント・講座
参加者アンケートにおいて
環境行動を意識して生活すると回答した人の割合

85%

区内企業等と連携し、主に未来を担う子どもたちに対して気候変動等と脱炭素社会への理解を深める啓発等を実施し、環境の行動を意識するとともに GREEN×EXPO 2027 の機運醸成を図ります。

(1) 脱炭素推進事業 **拡充**

ア 植物発電システムの展示・ワークショップの実施

(ア) 区内全中学校への展示《9～12月実施》

(イ) 子ども向けワークショップ《3月実施》

イ いそごこどもエコイベントの開催《全1回 3月》

親子向けの環境啓発イベントを実施

ウ 区内企業による出前授業の実施

磯子事業会と連携し、区内小学生向けの出前授業を実施

エ 企業見学・イベント等の開催協力

磯子事業会と連携し、「ISOGO +」において企業見学・イベント等の広報を実施《6月～》

・日清オイリオ横浜磯子事業場

工場見学、通年、1,128人参加《7月》

・横浜市南部水再生センター

施設見学、通年、24人参加《7月》

・IHI 横浜事業所

ものづくり教室、7月19日、120人参加《7月》

オ GREEN×EXPO 2027 及び磯子区制100周年PR特設ブース

(ア) 区庁舎1階に設置したフォトブースを拡張《9月》

(イ) 100周年記念事業の一環として、磯子の歴史や未来等をテーマにした、区民参加型のアートパネル制作企画《～3月》

(2) 磯子のまち花いっぱい事業

区民向けの花の種及び球根の配布、及び区役所前の花時計や駅前花壇の植え替えの実施



「植物発電の実験の様子」(R6)



「環境啓発イベントの様子」(R6)

GREEN×EXPO 広報・推進活動事業【脱炭素・GREEN×EXPO推進局から再配当 5,000千円】

GREEN×EXPO 2027 の機運醸成に向けて、磯子区におけるPRの実施



「フラワーミニフェスタでの
球根・苗木配布」(R6)

市民や企業と連携した緑のまちづくり事業【みどり環境局から再配当 1,677千円】

区総合庁舎前に期間限定で立体花壇を設置するほか、「カクテルコスモス花壇」のモデル整備や、区内公園愛護会等と連携し公園にてコスモスの育成を実施

11 脱炭素・まちの美化 推進事業

[予算額：2,300千円]

<地域振興課>

【アウトカム指標(全)】

区民1人あたり1日に排出する燃やすごみの総量

377グラム

リニューアブル
3R+Renewable※の推進やポイ捨て防止等まちの美化について、様々な普及・啓発活動を行うことで、「ヨコハマ プラ5.3計画」の目標達成を図るとともに、脱炭素社会の実現を目指します。

※Renewable：再生可能な資源に置き換えることであり、例えば、木や紙などの代替素材やバイオマスプラなどを使用した製品を選ぶこと

- (1) イベント等の機会を活用した啓発活動
- (2) 保育園・幼稚園、小学校等での啓発活動
- (3) もったいないノートの配布《7月実施済》
- (4) 環境施設見学会《全1回 8月実施済》
びん・缶・ペットボトルの選別施設及びプラスチックのリサイクル施設を見学
- (5) リサイクル工作教室《全2回 8月実施済》
- (6) 磯子駅周辺において、周辺事業者等の協力による清掃活動の実施
- (7) 横浜マラソン区内コース沿道清掃《全1回 10月》
- (8) スポGOMI大会 in 磯子の開催《全1回 12月6日》



「昨年度のスponGOMI大会
in 磯子の様子」(R6)

<p>12 広報・案内事業 [予算額：6,020千円]</p> <p>＜総務課＞</p> <p>＜区政推進課＞</p> <p>【アウトカム指標(2)】</p> <p>区民生活・震災時防災マップに関するアンケート調査により、役に立ったと答えた人の割合</p> <p>85%</p>	<p>総合窓口での丁寧な庁舎案内を行うほか、磯子区区民生活・震災時防災マップの配布など、わかりやすく生活に必要な情報等を発信することで、区役所サービスの満足度を高め、親しみやすく利用しやすい区役所の実現や区民の生活利便性向上を目指します。</p> <p>(1) 来庁者への親切丁寧な庁舎案内を実施 (2) 生活に必要な情報や区の魅力を伝える情報をまとめ、転入者等へ配布するほか、区内の魅力的な風景等を撮影した広報素材の収集・活用 (3) 区民生活に関わりの深い各種統計情報を掲載した「磯子区統計白書」の発行</p>		<p>「庁舎案内」</p>
<p>13 区民満足度向上事業 [予算額：4,432千円]</p> <p>＜総務課＞</p> <p>【アウトカム指標(1)イ】</p> <p>講演会で人権の大切さへの理解が深まった人の割合</p> <p>80%</p>	<p>職員一人ひとりの窓口応対力の向上や人権意識の向上を図る研修等を実施するとともに、来庁者にとって利用しやすい庁舎環境の整備を行うことで、安心・信頼して行政サービスを受けることのできる区役所を実現します。</p> <p>(1) 研修、講演会等の開催</p> <p>ア 応対力向上研修《7回》(レジリエンス対応研修※：4回、アンガーマネジメント研修：3回) ※困難やストレスに直面した時に、柔軟に対応し、回復力を持って乗り越える力（レジリエンス）を高めることを目的とした研修</p> <p>イ 人権啓発講演会《1回》</p> <p>(2) 区庁舎環境整備事業</p> <p>来庁者向けWi-Fiや窓口発券システムの運用等、来庁者がより利用しやすい庁舎環境を整備</p>		

14 区づくり経営事業
[予算額：1,449千円]

＜区政推進課＞

【アウトカム指標】(1)
案内サイン更新箇所
2箇所

主要事業の企画・進行管理、区内事業の総合調整を実施することで、区民ニーズを踏まえ、効果的・効率的に区の行政運営を行います。

また、区民や来訪者に対し、区内公共施設等への円滑な誘導を図るため、区内に設置する案内サインの更新等を行います。

- (1) 運営方針の策定、周知 《策定 5月、周知 6月》
- (2) 区内事業の企画・総合調整
- (3) 案内サインの更新 《3月》

II 安全・安心なまち

【5事業 14,474千円】

「横浜市地震防災戦略（予算額3月改定）」を踏まえ、震災や激甚化している風水害に備え、様々な世代や多様な避難者への対応を含めた自助・共助の取組の支援や啓発等を実施することにより、地域防災力の向上を図ります。

また、地域・学校・警察等と連携した防犯対策や交通安全対策に取り組みます。

事業名	事業内容
<p>15 地域と一緒につくる防災・減災事業</p> <p>重点</p> <p>[予算額：7,939千円]</p> <p>＜総務課＞</p> <p>＜福祉保健課＞</p> <p>＜生活衛生課＞</p> <p>【アウトカム指標】(1)ア</p> <p>防災講座アンケート「災害に備えて3日以上の防災備蓄を行っている」区民の割合</p> <p>60%</p>	<p>地域が主体となって行う防災訓練の支援、区民の自助・共助の意識向上や取組促進を目的とした啓発、防災ボランティア団体の活動支援、区災害対策本部の充実強化を行うことで、災害時への備えを実施している区民を増やし、減災につなげます。</p> <p>(1) 地域の自助・共助啓発事業 拡充</p> <p>ア 防災講座の実施《25回 8回実施済》</p> <p>大規模地震や風水害等に対する備えや避難行動等に関する講話及び防災啓発動画等の啓発資料・啓発物品の配布</p> <p>イ 地域防災アドバイザー派遣《30回 14回(6団体)実施済》新規</p> <p>町の防災組織が抱える課題解決のため、防災の専門知識を有する団体や防災士をアドバイザーとして、1団体3回を上限に自治会町内会等へ派遣</p> <p>ウ 楽しい防災プログラム体験会《1回 11月》新規</p> <p>あらゆる世代の防災訓練への参加や、地域における防災の担い手育成につなげるため、自治会町内会等の防災訓練に活かせるゲーム形式の訓練などの体験会を磯子消防署と共同で実施</p>

エ 崖地相談会《2回 7月23日、26日実施済》 新規

激甚化する災害による被害を軽減するため、専門家（地盤品質判定士）による崖地・擁壁の維持管理等に関する相談会を実施

(2) 地域防災拠点等支援事業

ア 地域防災拠点運営委員向け講習会の実施《1回 10月》

発災時の円滑な拠点運営や、拠点訓練の充実を図るため、運営委員向け講習会を実施

イ 物置の増設《2拠点》

備蓄品の増加により手狭となった備蓄庫の収容スペース不足解消のため、物置を設置（予算額度で区内すべての拠点への増設完了）

(3) 区災害対策本部強化事業

ア 区本部運営訓練《3回 5月、9月実施済 1月》

関係機関、ボランティア団体と連携した訓練を実施

イ 拠点動員者研修《2回 8月実施済・10月》

拠点動員者のスキルアップを図る研修を実施

(4) 防災ボランティア活動支援事業

ア 防災パネル展の開催《2回 9・1月》

イ 応急手当普及員の新規講習・再講習の支援

(5) 防災関連マップ等配布事業

区民による自発的な防災・減災活動に繋げていくため、磯子区区民生活・震災時防災マップ、在宅避難リーフレット、各種ハザードマップを配布することにより啓発を実施

(6) 災害時医療体制整備事業

ア 三師会、医療機関等関係機関による災害医療連絡会の開催《2回 9月・3月》



「崖地相談会」



「区本部運営訓練」

- イ 医療機関・薬局と連携した MCA 無線^{※1}等による情報受伝達訓練の実施
《6回 4・6・8月実施済 10・12・2月》
- ウ 三師会との「のぼり旗掲出訓練」の実施《1回 10月》
- エ 地域 BWA^{※2}を用いた医療機関等との災害医療合同訓練《1回 2月》

※1 MCA (Multi Channel Access) 無線

周波数の効率的な利用を目的として開発された一般業務用の陸上移動無線システムで、ひとつの周波数帯を多くの利用者が順番に使用する方式を採用

※2 地域 BWA(Broadband Wireless Access)

広帯域移動無線アクセスのことで、携帯電話等で使われる周波数帯と異なる周波数帯を使用しており、災害時でも通信制限がかからず、安定した通信環境の確保が可能

(7) 災害時ペット対策事業 **拡充**

地域防災拠点におけるペットの同行避難が円滑に進むよう、拠点に対する支援を行います。また、飼い主に対しても日頃から必要な備えなど、ペット防災について啓発を行います。

ア 拠点におけるペット同行避難の訓練を支援するとともに、他拠点への先行事例となるモデル事業を展開する《1回 1月》

イ 災害時のペット対策に関心がある方向けの講習会の実施
《1回 2月》【オンライン・対面併用開催】

ウ 区民ホールや地域防災拠点訓練等でのパネル展示
《3回 10・12・2月》



「ペット同行避難訓練のモデル
(イメージ)」

地域防災力向上事業【総務局事業 262,006千円】

(1) 地域防災活動奨励助成金

地域防災拠点運営委員会等が実施する研修・広報・訓練などの運営経費及び防災資機材の維持管理経費の一部として補助金を交付し、地域防災拠点を中心とした地域防災活動を支援します。

(2) 「町の防災組織」活動費補助金

自治会町内会等により組織されている「町の防災組織」が行う自主防災活動の経費の一部として補助金を交付し、地域の自主防災活動を支援します。

感震ブレーカー等設置推進事業【総務局事業 177,500千円】

震災時の火災による住宅被害の軽減を図るため、感震ブレーカーの設置補助を行います。「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」における重点対策地域（不燃化推進地域）においては器具購入費を全額補助、重点対策地域以外の地域においては器具購入費の一部補助（最大1/2 上限2,000円）を行います。令和7年度からは、個人を対象とした補助制度・取付支援を横浜内全域に広げ、さらなる設置促進を図ります。

家具転倒防止対策助成事業【総務局事業 33,200千円】

地震発生時における人的被害を抑えるため、家具類の転倒防止器具を自力で設置することが難しいと考えられる、高齢者や障害者等のみで構成される世帯に設置助成を行います。「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」における重点対策地域（不燃化推進地域）においては、家具転倒防止器具購入費を全額助成、重点対策地域以外の地域においては、家具転倒防止器具購入費の一部助成（最大1/2 上限2,000円）を行います。

災害時医療体制整備事業【医療局事業 68,801千円】

大規模災害に備え、横浜市防災計画に基づいた災害時医療体制をより充実させるため、災害医療関係機関との連携を強化します。医療救護隊関係機関である横浜市医師会、薬剤師会、看護協会と連携した集合研修を実施するほか、各区においても必要な訓練や研修を実施するなど、体制を充実させるための取組を進めます。

<p>16 災害時要援護者支援事業 [予算額：1,078千円]</p> <p>＜総務課＞ ＜福祉保健課＞ ＜高齢・障害支援課＞</p> <table border="1" data-bbox="168 489 512 659"> <tr> <td>【アウトカム指標(2)】</td></tr> <tr> <td>福祉避難所協定施設の開設理解度</td></tr> <tr> <td>94%</td></tr> </table>	【アウトカム指標(2)】	福祉避難所協定施設の開設理解度	94%	<p>自治会町内会等の取組支援、福祉避難所の運営支援を行うことで、高齢者・障害者など配慮が必要な災害時要援護者が円滑かつ安全に避難できる支援体制を整えます。</p> <p>(1) 災害時要援護者の支援事業 安否確認等が円滑にできるよう、災害時要援護者名簿の掲載者をプロットした地図の作成</p> <p>(2) 福祉避難所支援事業 福祉避難所協定施設と連携し、発災時の円滑な開設・運営を支援</p> <p>ア 区と福祉避難所による連絡会の開催《全2回 7月実施済 3月》</p> <p>イ 区と福祉避難所間での情報受伝達訓練の実施 《全2回 6月実施済 11月》</p> <p>ウ 福祉避難所の開設・受入訓練の実施《全2回》</p> <p>エ ポータブル電源を2か年で残りの17か所配備のうち、7か所に配備</p>	 <p>「情報受伝達訓練の様子」</p>
【アウトカム指標(2)】					
福祉避難所協定施設の開設理解度					
94%					
<p>17 地域・学校防犯力強化事業 [予算額：1,750千円]</p> <p>＜地域振興課＞</p> <table border="1" data-bbox="168 1071 512 1278"> <tr> <td>【アウトカム指標(全)】</td> </tr> <tr> <td>犯罪発生件数（1月～12月※）※警察の統計が暦年のため</td> </tr> <tr> <td>565件</td> </tr> </table>	【アウトカム指標(全)】	犯罪発生件数（1月～12月※）※警察の統計が暦年のため	565件	<p>防犯対策や啓発活動を、地域・学校・警察等と協力・連携して進めることで、犯罪のない安全・安心なまちづくりを推進します。</p> <p>(1) 防犯活動支援事業 ア 区民による主体的な防犯活動や取組に対する物品の貸与 イ 安全安心メールの配信 ウ 磯子警察署と連携した特殊詐欺等防止の取組 (迷惑電話防止機器の貸与、防犯啓発キャンペーンへの参加等)</p> <p>(2) 安全・安心まちづくり推進協議会運営 ア 安全・安心まちづくり推進協議会総会（書面）の開催《1回実施済み》 イ 功労者表彰の実施《1回 10月》 ウ 中学生ポスターコンクールの実施及び表彰《1回 10月》</p> <p>(3) 青色防犯パトロール</p>	 <p>「自治会町内会による防犯パトロール」</p>
【アウトカム指標(全)】					
犯罪発生件数（1月～12月※）※警察の統計が暦年のため					
565件					

18 交通安全啓発事業

[予算額：2,999千円]

＜地域振興課＞

【アウトカム指標(全)】

区内交通事故死者数

※()は市内目標と実績

0 (36) 人

交通安全指導と啓発活動を警察、交通安全協会等の団体と連携して進めることで、交通事故の防止と安全意識の向上を推進します。

(1) 交通安全指導

交通安全教室や講習を警察署、交通安全協会等と連携して実施

- ア 幼児交通安全教室《全40園 17園実施済》
- イ 児童交通安全教室・はまっ子交通あんぜん教室
《全16校 4校実施済》
- ウ 大人への自転車マナー等交通安全啓発
 - (ア) 交通安全教室等で大人（保護者）に向けた自転車マナーの呼びかけ等
 - (イ) 区シニアクラブ連合会行事等にて、反射材の配布等
 - (ウ) 地区センター等区内施設にて、啓発ちらしの配架等
- (2) 交通安全キャンペーン
各季キャンペーン《全4回 4月実施済 7・9・12月》
- (3) スクールゾーン対策協議会への助成《全16団体》



「はまっ子交通あんぜん教室
(洋光台第三小)」

19 食と暮らしの安全確保事業

[予算額： 708 千円]

＜生活衛生課＞

【アウトカム指標(1)】

社会福祉・教育関連施設、地域行事での集団食中毒発生件数

0 件

高齢者や子どもに関係する施設等の健康危機管理強化に対する支援や生活衛生及び動物の愛護に関する正しい情報を発信することで、食中毒予防や犬による咬傷事故防止など、区民の安全で安心な生活を実現します。

(1) 食と暮らしの衛生サポート事業

ア 高齢者や子どもに関係する施設の衛生確保

保育園、小学校等の調理室の簡易拭き取り検査《15 施設》

イ 食中毒、感染症予防対策

(ア) 食中毒予防キャンペーン《1回 9月》

(イ) 感染症対策指導者養成研修会《2回 10月》

ウ 食と暮らしの衛生に関する情報発信

(ア) 衛生講習会（区民、施設従事者対象の出前講座）

(イ) 手洗い講座《3回実施済》

(ウ) 食中毒・衛生害虫・災害時ペット対策のパネル展

《3回 6月実施済 10・12月》

エ 衛生害虫等対策

(ア) 広報でのハチ・蚊等に関する啓発《広報区版5月号に掲載済》

(イ) ハチの巣駆除機器の貸出し

(2) 犬や猫の適正飼育等普及事業

ア 動物適正飼育に関する啓発

(ア) 犬や猫の適正飼育啓発資料の配布

(イ) 適正・終生飼育講演会《1回 11月》【オンライン・対面併用開催】

(ウ) 長寿犬表彰《1回 11月》

イ 猫の飼育問題解決支援事業

(ア) 猫の適正飼育支援（猫侵入防止機器の貸出し）

(イ) 地域猫活動の支援



「アシナガバチの巣」

III 子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち

【10事業 30,027千円】

多様化する子育てニーズを踏まえた育児支援をはじめ、「第4期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）」に基づく地域の皆さまの取組の支援や、第5期計画の策定、地域包括ケアシステムの推進、多文化共生の推進に取り組みます。

事業名	事業内容
<p>20 磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）推進事業 〔重点〕 [予算額：9,510千円] ＜福祉保健課＞</p> <p>【アウトカム指標】（全） 各地区事業実施数 100事業</p>	<p>地域の福祉保健活動の支援や計画の普及啓発を行い、「第4期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）」（計画期間：令和3年度～7年度）を推進するとともに、第5期計画（計画期間：令和8年度～12年度）を策定し、「誰もが幸せに暮らせるまち」の実現を目指します。</p> <p>(1) 第5期計画策定事業</p> <p>ア 第5期計画策定支援委託 第5期計画策定に向けた、意見集約や計画原案策定等の業務委託 イ 策定・推進検討会の開催《全3回 7月実施済 10・2月》 各地区の代表や各種団体からなる第5期計画の策定等に係る意見交換</p> <p>(2) スイッチON磯子支援事業</p> <p>ア 地域福祉保健活動に対する補助 活動を推進するための会議運営や地域福祉活動の取組に対する補助金の交付 イ 区役所・区社協・地域ケアプラザ職員向け地域支援研修《1回 10月》</p> <p>(3) スイッチON磯子普及啓発事業</p> <p>ア スイッチON磯子認知度向上や第5期計画の策定に子どもの意見を反映するため、磯子まつり等のイベントにおいてアンケートを実施 イ 講演会の開催《1回 11月》</p>



「一人暮らし高齢者の集いの様子
(滝頭地区)」

～第5期スイッチON 磯子の基本理念・基本目標について～

令和6年度に、地域の代表や団体を委員とした策定・推進検討会での議論を踏まえ、基本理念と3つの基本目標を策定しました。

【基本理念】

「誰もが幸せに暮らせるまちをみんなでめざす」

【基本目標】

「I お互いを認めあい 自分らしく暮らせるまち」

「II つながりを通して 健やかに暮らせるまち」

「III 共に支えあう お互いさまのまち」

今後のスケジュールとしては、10月の策定・推進検討会で素案を策定、11月に区民意見募集を行い、3月に策定予定です。

21 子育て応援事業

重点

[予算額：5,122千円]

＜こども家庭支援課＞

【アウトカム指標(全)】

子どもの育てにくさを感じている保護者のうち、解決方法を知っている方の割合

83%

地域の子育て支援団体・機関と連携し、妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援を進め、“子育てしやすいまち磯子”の実現を目指します。地域子育て支援拠点「いそピヨ」の日曜日開所や地域へのアウトリーチなど、養育者のニーズに対応した取組の充実化を図ります。

(1) いそピヨ機能強化事業 (Sunday いそピヨ) 新規

地域子育て支援拠点（いそピヨ）の日曜日開所「Sunday いそピヨ」をスタートさせるとともに、地域へのアウトリーチを実施します。さらに、男性の育児参加を促進する講座を拡充します。

《4・9月を除く月1回（アウトリーチ会場2か所含む）

5・6・7・8月実施済※》*7月は滝頭地域ケアプラザでのアウトリーチを実施

ア いそピヨの日曜日開所

イ 日曜日に開催する父親子育て応援講座

(2) 出産育児応援事業

ア プレパパ出産育児教室《3回 6月実施済み 10・2月》

イ あかちゃん教室（11会場）《各会場原則10回》

ウ 授乳相談《月1回 4・5・6・7・8月実施済》

(3) 地域で子育て応援事業

ア 磯子区オリジナルアルバム配付、手形・足形スタンプ配置

新たな家族を迎えたての家庭に、メッセージや手形・足形の成長記録を残せるオリジナルアルバムを配付（手形・足形用のスタンプ台は、あかちゃん教室、地域子育て支援拠点等に設置）

イ 子育て応援マップ「いそっこマップ」の配布

区内7エリアごとの子育て情報を掲載した「いそっこマップ」を、子育て世帯が利用する機関や施設等で配布

ウ 障害児支援ネットワーク 《3回 5月実施済 9・1月》



「アウトリーチの様子
(滝頭地域ケアプラザ)」



「プレパパ出産育児教室
を受講するパパ・ママ」

	<p>エ 子育て支援連絡会 《4地区各1回実施済、全体会1回 2月》 保育園、親と子のつどいの広場、地域ケアプラザ等が参加し、地域子育て支援拠点と連携して子育てネットワークを強化</p> <p>オ 保育ボランティア研修・配置事業《研修2回 7月実施済 12月》 区内の保育ボランティアグループに研修を実施し、区の行事等での保育協力を依頼</p>												
<p>22 「STOP！こども虐待」事業 [予算額：2,483千円] <こども家庭支援課></p> <table border="1" data-bbox="163 727 512 878"> <tr> <td>【アウトカム指標(全)】</td></tr> <tr> <td>児童虐待死ゼロ</td></tr> <tr> <td>0人</td></tr> </table>	【アウトカム指標(全)】	児童虐待死ゼロ	0人	<p>子どもへの関わり方に悩む養育者を支援するため、子どもとの適切なコミュニケーションについて学ぶ講座の開催や動画配信を行います。また、養育支援が必要な家庭を地域で支えるネットワークづくりや関係機関との連携強化を図ることを目的とした連絡会を実施し、引き続き、児童虐待死ゼロを目指します。</p> <p>(1) ひろがれ！「ほのぼの子育て」事業</p> <p>ア 「ほのぼの子育て」講座 子どもとより良い関係を築く際に大切な養育のスキルを体験的に学ぶ養育者向けの実践講座《4回 6月実施済 11・1・3月》</p> <p>イ 「ほのぼの子育て」動画・リーフレットの配信・配布</p> <p>(2) エリア別虐待防止連絡会《6回 9月～12月》 要保護児童対策地域協議会に位置づけられている実務者会議と個別ケース検討会議とをつなぐエリア別の連絡会を、中学校区ごとに開催し、有識者を講師として招き研修・グループワークを実施</p> <p>(3) 親子のための法律相談 母子の権利擁護とともに、DV等から親子の安全を守るために、区役所で弁護士による専門相談を実施 《6回 5・7月実施済 9・11・1・3月》</p>	 <p>「ほのぼの子育て講座の受講者」</p> <div data-bbox="1709 954 2084 1133"> <p>子どもとよりよい関係を築く際に大切なスキル</p> <table border="1"> <tr> <td>避ける 3つの K</td> <td>使う 3つの P</td> </tr> <tr> <td>① マンド 命令</td> <td>① raise 具体的にほめる</td> </tr> <tr> <td>② エスチョン 質問</td> <td>② paraphrase くり返す</td> </tr> <tr> <td>③ リティズム 批判</td> <td>③ point Out 行動を言葉にする</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="1709 1144 2084 1335">  <p>長い電車をひっぱってー</p> </div> <p>「ほのぼの子育て動画」</p>	避ける 3つの K	使う 3つの P	① マンド 命令	① raise 具体的にほめる	② エスチョン 質問	② paraphrase くり返す	③ リティズム 批判	③ point Out 行動を言葉にする
【アウトカム指標(全)】													
児童虐待死ゼロ													
0人													
避ける 3つの K	使う 3つの P												
① マンド 命令	① raise 具体的にほめる												
② エスチョン 質問	② paraphrase くり返す												
③ リティズム 批判	③ point Out 行動を言葉にする												

地域子育て支援拠点「いそピヨ」事業【こども青少年局から再配当 65,268千円】

地域子育て支援拠点では、就学前の子どもとその保護者が遊びながら交流できるスペースを提供するとともに、子育て相談、子育て情報の提供などを行います。利用登録のうえ、無料で利用できる施設で、子育て支援に関わる方のための研修会や子どもの預かりなども実施しています。

<7つの機能>

子育て家庭のために	(1) 遊んで、交流のできる場を提供します（親子のひろば） (2) 子育ての不安や悩みの相談をお受けします（子育て相談） (3) 子育てのいろいろな情報を集め提供します（情報の収集・提供事業）
子育て支援者のために	(4) 支援者のネットワークをつくります（ネットワーク作り） (5) 支援者向けの研修会などを行います（人材育成機能）
地域の中での子どもの預かり合いの促進	(6) 横浜子育てサポートシステム事務局の運営を担います
地域で子育て家庭を支えるために	(7) 横浜子育てパートナーが親子をサポートします

児童虐待防止啓発地域連携事業【こども青少年局から再配当 350千円】

児童虐待防止に関する広報・啓発を行うとともに、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりを推進します。

- (1) 児童虐待防止啓発地域連携事業《関係機関向け講演会 1回》
- (2) 区要保護児童対策地域協議会実務者会議《代表者会議 2回》
- (3) 児童虐待防止のための区民向け啓発
 - ア パネル展示《1回》
 - イ プレパパ出産・育児教室での乳幼児揺さぶられ症候群予防啓発《3回》
 - ウ 啓発物品購入（歯ブラシ、缶バッヂ、ウェットティッシュ）

23 保育園地域子育て支援事業
[予算額：836千円]
<こども家庭支援課>

【アウトカム指標(1)】
育児講座・育児イベント参加者満足度
95%

未来を担う子どもたちを健やかにはぐくむため、市立保育園（東滝頭、洋光台第二）の保育施設を活用した子育て支援事業を実施することで、親と子のふれあいや地域とのつながりを醸成し、子育て中の家庭を支援します。また、園児が保育園で花・野菜を栽培・展示するなど、地域の“緑花”をきっかけに支援の輪を拡げるとともに、GREEN×EXPO 2027 の機運醸成を進めます。

(1) 育児支援事業

- ア 施設開放に合わせて、保育士による絵本や紙芝居の読み聞かせと絵本の貸し出しコーナーの設置
- イ 育児講座の開催や親子の居場所・仲間作りの場の提供
《育児講座：全8回 2回実施済 9～3月、仲間作りの場の提供：全29回 9回実施済 9～3月》
- ウ 地域ケアプラザ、ログハウス等への市立園の保育士による出前保育
《全28回 8回実施済 9～3月》
- エ 市立及び私立保育園の保育士による磯子スポーツセンター等での育児支援イベントの開催《全3回 6月実施済 10・11月》
- オ 「磯子区オリジナルアルバム」を持って市立保育園に遊びに来た家庭向けに手形・足形用のスタンプ台を設置

(2) 食育推進事業（すくすく・もぐもぐ相談事業）

- ア 給食体験と育児相談の実施
《給食体験：隨時受付（予約制） 8回実施済 9～3月》
- イ 給食レシピの配布及びホームページでの掲載

(3) 花いっぱい 野菜いっぱい あつたか保育園事業 拡充

- ア 市立保育園での花・野菜の栽培と展示
- イ 栽培した花の区庁舎展示と種の配布《全1回 10月》
- ウ 花・野菜の栽培を通じた民間保育園や地域の親子、高齢者等との交流
《隨時実施 137回実施済 9～3月》
- エ GREEN×EXPO 2027 の機運醸成ため、園児が育てた苗等に特製プレートを付けて地域に配布《10～11月（開催500日前に合わせて実施）》



「育児支援イベント
「いそっこあつまれ！！」の様子」



「高齢者施設利用者に
園児が育てた花を届けた際の様子」

24 青少年育成活動助成事業

[予算額：860千円]

＜地域振興課＞

【アウトカム指標(2)】

磯子区子ども会連絡協議会への磯子区小学生の加入率

20%

青少年育成を目的とした団体が行う事業に対して補助を行うことで、活動の推進、青少年が健全に育成される環境づくりを促進します。

(1) 青少年育成活動への支援 《4事業申請済》

(2) 磯子区子ども会連絡協議会への支援

磯子区子ども会連絡協議会が行う研修会やサマーキャンプ等の事業に対する補助の実施



「R7年度サマーキャンプ」

磯子区寄り添い型学習支援事業【健康福祉局から再配当 20,316千円】

生活困窮状態等により支援を必要とする家庭に育つ中学生を対象に、個別学習や学習の仕方に関する相談を行うことで、高校進学に向けた支援を行い、将来の自立に向けた基盤づくりのための支援を行います。

磯子区寄り添い型生活支援事業【こども青少年局から再配当 16,486千円】

養育環境に課題があることなどから、日常の生活習慣などが身についていない小中学生（主に小学生）を対象に、生活能力の向上を図ることで、将来的に自立した生活を送ることができるよう支援を行います。

25 区民の健康づくり
応援事業
[予算額：2,929千円]
＜福祉保健課＞

【アウトカム指標】(全)	
平均自立期間 (日常生活に介護を要しない期間の平均)	
延伸 (参考値) 男：79.25年 女：83.68年 (令和5年・磯子区)	

区民が自ら健康づくりに取り組めるように、知識や技術の普及・啓発、身近な地域での健康づくり活動の支援することで、健康寿命の延伸を目指します。

- (1) 出張！健康づくり応援隊《3回 4・6・8月実施済》
専門職員が地域の方と協力して地域での催し等に出張し、生活習慣改善につなげるための相談やイベントを実施
- (2) がん検診・特定健診啓発事業
ポスター掲示、パネル展等を通じたがん検診・特定健診の啓発
5月の「母の日」に合わせ、区内生花店と連携して乳がん検診の啓発活動のための啓発グッズ（590個）配布。
- (3) 保健活動推進員関連事業
 - ア 保健活動推進員研修《3回 5・6月実施済 11月》
 - イ 保健活動推進員活動支援
- (4) 食生活等改善推進員周年記念事業 **新規**《4月30日実施済》
今年度、活動60周年を迎える磯子区食生活等改善推進員の記念式典での感謝状授与
- (5) 乳幼児の「食」応援事業
 - ア 出張栄養相談《月1回 4～9月実施済 10～3月》
 - イ はじめての離乳食教室《月1回 4～8月実施済 9月～3月》
 - ウ おいしいお話よみきかせ《2回 4月実施済 10月》
- (6) 区民の「健口」応援事業
 - ア おやこ歯っぴー教室《6回 5・7月実施済 9・11・1・3月》
(5月はSunday いそピヨと連携して実施)
 - イ 磯子区歯科医師会との連携会議《1回 11月》



「出張！健康づくり応援隊/
日清オイリオ横浜磯子春まつりでの
血管年齢測定の様子」



「がん検診啓発事業/協力生花店での
乳がん検診啓発グッズ配布の様子」

26 高齢者みんなで支
えるまちづくり事業
[予算額：2,014千円]
<高齢・障害支援課>

【アウトカム指標(1)】	
平均自立期間 (日常生活に介護を要しない期間の平均)	
延伸 (参考値) 男：79.25年 女：83.68年 (令和5年・磯子区)	

介護予防・健康づくりや認知症の方を地域で見守る体制づくり、高齢者が一人で悩まず誰かにつながる地域づくりを進めることで、横浜型地域包括ケアシステムを推進し、健康寿命の延伸や、高齢者一人ひとりが可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることを目指します。

(1) フレイル予防

- ア いそご区民まつり等にて、フレイル予防の啓発や地域の通いの場等について案内
- イ フレイル予防動画「磯子けんこう体操」のインターネット配信、DVD・リーフレットの配布



「区民まつりでのフレイル予防啓発の様子」(R6)

(2) 認知症普及啓発

- ア 磯子区認知症高齢者あんしんネットワーク事業
 - (ア) 磯子区認知症事業・高齢者虐待防止連絡会《全1回 12月》
 - (イ) 認知症の理解を深めるためのリーフレット増刷

イ 区民理解の促進

- 認知症サポーター養成講座を実施、あわせて啓発用ハンドタオルを作成・配布

ウ 普及啓発講演会

- 認知症当事者等による講演会を実施《全1回 11月》

(3) 「つながるマグネット」事業

- 民生委員、地域ケアプラザ、区役所への相談や支援につながっていない一人暮らし高齢者等が、困り事を自ら相談し、「つながる」ことができるように、お住まいの地域のケアプラザと区役所の電話番号を記載した保存版の「つながるマグネット」とチラシを作成。一人暮らし高齢者等のうち、民生委員の訪問を希望されなかった方に配布。《12月》



「認知症サポーター養成講座」(R6)

困ったときは連絡を! 

根岸地域ケアプラザ
045-751-4801

磯子区役所 高齢・障害支援課
045-750-2417

「つながるマグネット」

元気づくりステーション 【健康福祉局から再配当 1,170 千円】

「歩いて行ける身近な場所で仲間と介護予防に取り組む自主的なグループ活動」

第9期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画において、元気づくりステーション等のグループ活動を広げ、介護予防の取組を推進することが位置づけられています。磯子区では予算額度 26 のグループが活動しています。

- (1) 区保健師と地域包括支援センターの看護職が連携し、新規グループの立ち上げや既存グループの活動の活性化支援
- (2) 区内元気づくりステーションの情報マップ等を活用した地域に向けた情報提供
- (3) フレイル予防普及啓発のためのフレイル予防サポーター人材育成研修の実施《全3回 11月、12月》

27 障害者地域生活サポート事業
【予算額：1,351千円】
<高齢・障害支援課>

【アウトカム指標(1)】
支援者学習会参加者数
170人

障害者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる地域共生社会を目指して、障害者の支援に関する関係機関のネットワークにより、障害者の地域生活課題を抽出し、課題解決を図るとともに、支援者のスキルアップのための学習会を開催します。また、障害理解の促進に向けた区民向け普及啓発を行います。

(1) 障害者相談支援ネットワーク事業

- ア 支援者学習会《3回》
- イ 障害者の防災の取組に関する啓発・意見交換

(2) 障害者週間等普及啓発

- ア 障害者施設自主製品紹介冊子「いそごできがそ」の改訂及び駅等への障害事業所による配架
- イ 区民ホールにおける障害者施設自主製品販売「こすもすショップ」
《毎月2回と障害者週間期間中3回 計27回 10回実施済》
- ウ 障害者週間パネル展《1回》
障害者週間（12月3日～9日）に合わせてパネル展を実施



「こすもすショップ」

磯子区精神障害者生活教室（すみれ会） 【健康福祉局から再配当 107千円】

こころの病気を抱える方の社会復帰・社会参加の支援のため、レクリエーションやスポーツ、創作活動などを区役所の会議室や公園等で実施します。《月4回程度》

自殺対策事業 【健康福祉局から再配当 243千円】

自殺の現状や自殺対策について広く普及啓発するため、高齢・障害支援課、福祉保健課、生活支援課が合同で、自殺予防週間（9/10～16）に合わせて、自殺予防週間パネル展等を実施します。《1回》

28 多文化共生推進事業

重点

[予算額：2,322千円]

＜地域振興課＞

【アウトカム指標(2)】

ラウンジ利用者数（イベント参加者数等含む）

3,500人

多文化共生の拠点となる「いそご多文化共生ラウンジ」が、地域団体や学校等との連携を図ることで、「多文化共生を通して、誰もが地域で安心して力を発揮できる磯子」の実現を目指します。

(1) 多文化共生環境整備事業

区役所窓口へのテレビ電話通訳タブレット及びポケトーク端末の運用

(2) 多文化共生推進のための連携事業

いそご多文化共生ラウンジが地域団体や学校等と連携し、地域の抱える課題に対応するためのアウトリーチを通じた多文化共生の推進

ア ごみの分別など地域課題への取組（外国人ボランティアによる地域イベントでのごみ分別啓発）

イ 外国人住民が地域で活躍できる場やきっかけづくり

ウ 日本語教室における防災啓発《秋頃から7箇所予定》 等



「滝頭地区ふれあい納涼盆踊り大会での出店」

いそご多文化共生ラウンジ（国際交流ラウンジ）〈区民利用施設管理費 15,845千円〉

今後も増加が見込まれる外国人区民への対応を進め、更なる多文化共生の実現を目指します。

＜主な機能＞

- ・外国人市民に対する情報提供・相談機能
- ・国際交流事業、日本語教室事業 など



「いそご多文化共生ラウンジ ロゴ」

29 地域の居場所づくり支援事業
[予算額：2,600千円]
＜地域振興課＞

【アウトカム指標(全)】
居場所を活用した地域活動実施回数
36回

居場所を活用した地域活動実施回数を増やすことで、多世代による多様な地域活動を活発にし、地域に顔の見える関係づくりを進めるため、地域交流の場や居場所づくりを進める団体に対して、空き家や空き店舗、住居の空き部屋等を活用した施設改修や活動などのための補助金を交付します。

磯子区地域の居場所づくり支援補助金交付事業
《新規1団体、継続2団体》



「YOROZUYA
(3Dプリンタ入門講座)」

議題3 令和8年度磯子区予算編成の考え方について



令和7年9月
磯子区

GREEN
X
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

令和8年度磯子区予算編成の考え方について（案）

磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）の第5期計画が令和8年度から始まります。同計画は、区が地域とともに進める事業・取組の基本であると捉えています。年度の後半にはいよいよ区制100周年が幕開けするとともに、GREEN×EXPO 2027が開催されます。「創造・転換」を理念とする歳出改革を意識しながら、限られた財源の中で区民満足度を高めることができるよう、以下の柱を基本に編成を進めます。

編成に当たっては、データを活用した事業の選択と集中に留意するとともに、地域の方々が意見交換を行う場（コスモスミーティング）をはじめ、様々な機会に区民の皆様からいただいたご意見を踏まえ、区民ニーズに対応した事業の検討を行います。

I ともに創り、祝う区制100周年 ～地域の力と魅力にあふれるまち～

令和9年に迎える磯子区制100周年を、区民の皆さまと盛大に祝う記念事業がスタートします。100年の歩みを振り返り、まちを築いてきた方々への感謝を込めて、未来へつなぐまちづくりを進めます。また、多様化する地域課題に対応するため、自治会町内会や商店街、事業者と協力し、地域の活性化を図ります。さらに、GREEN×EXPO 2027に向け、地域資源を活かした機運醸成や脱炭素の取組を進め、地域の力と魅力にあふれるまちを目指します。

II 安全・安心なまち

首都直下地震や南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生が懸念される中、震災や激甚化・頻発化する風水害に備え、様々な世代や多様な避難者への対応を含めた自助・共助の取組の支援や啓発等により、一人ひとりの備えと地域の絆をさらに浸透させ、地域防災力の向上を図ります。また、地域・学校・警察等と連携した防犯や交通安全対策をより一層強化し、安全・安心なまちづくりを推進します。

III 子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち

多様化する子育てニーズを踏まえた育児支援をはじめ、初年度を迎える第5期の磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）に基づく地域の皆さまの活動を支える取組や、地域包括ケアシステムの推進、障害のある方への支援、多文化共生の推進に向けた取組を行うことで、ともに支えあい、子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまちの実現を目指します。